

第6章 高等学校教育

第1節 概要

今年度は、高等学校において、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて生徒の学力向上を図り、将来への展望を抱かせるとともに、地域に貢献できる人材や社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成し、教員研修及び生徒指導等に取り組んだ。

(1) 「ふくしま創生人材育成事業」

ア ふくしま創生サミットの開催

県立高等学校の生徒が地区ごとに集合し、地域の課題やその解決法、地域の未来像などについて意見を交換した。

イ 社会貢献活動コンテストの開催

復興に貢献する人材育成を目的に開催。県内の高校生が地域課題の解決に向けた取組について発表した。

ウ 地域コーディネーターの配置

葵高校と喜多方高校に、学校と地域をつなぐ人材発掘を担う地域コーディネーターをそれぞれ1名ずつ配置し、会津地区の高校における地域課題探究学習を支援した。

エ 特色ある郷土理解教育の支援

○ 対象校 22校

○ 各校の取組内容

・生徒の基礎学力を高める取組

(ア) 学ぶ意欲や知識・判断力を高めながら、主体的に学習に取り組む態度を育む講演会やガイダンス

(イ) 課題探究力養成講座

・3年間の計画的な進学指導體制の充実を図る取組

学力向上連絡協議会の開催

・生徒・保護者・教員・地域をつなぐ取組

(ア) 地元企業・地域人材との連携による課題探究型ワークショップ

(イ) 地域課題探究活動

(ウ) 進路便りや年間指導計画表の作成・配布

・社会人としての在り方についての理解を深める取組

(ア) 社会人としての在り方についての講演会

(イ) 職場見学会（選択）

(ウ) デュアルシステム等の実施（選択）

オ アクティブ・ラーナー養成研修会の開催

全県立高等学校の代表教員1名が参加し、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業や地域課題探究学習における各校の取組を共有した。

(2) 「オールふくしま学力向上推進事業」

ア 大学進学のための学力向上推進事業

○ 対象校 20校

○ 各校の取組内容

・思考力・判断力・表現力等の養成講座

・教員による、難関大学等の入学試験問題の研究と発展的内容に係る指導

・生徒の実態に応じた各校独自作成による校内模擬試験等の実施

・社会人としての在り方についての理解を深める講話

・大学教授等による最先端研究や理論に関する講義や演習

・大学等と連携した最先端研究実習体験や課題研究指導（選択）

・卒業生（大学生等）による講話

・保護者を交えた進学勉強会

・進路便りや年間進路指導計画表の作成・配布

○ 研究会等の開催

・学力向上のための教科指導力向上研究会

アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための研究

・学力向上連絡協議会

アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための協議

イ ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト

○ 対象 県立高等学校1・2年生

○ 実施内容

(ア) 1年生対象：新型コロナウイルス感染拡大防止のため参集とオンデマンドを活用して行った。

- ・ 教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
- ・ 予備校講師等による難関大合格に向けたハイレベル講座（国語・数学・英語）
- ・ 大学生との交流会、パネルディスカッション等

(イ) 2年生対象：新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンデマンドを活用して行った。

- ・ 大学教授・予備校講師等による講座（国語・数学・英語）

ウ 科学の甲子園福島県大会

生徒の理数に関する興味・関心を高めるとともに、意欲ある生徒の再生可能エネルギーの研究開発や放射線医学などを担う能力の育成を図ることを目的に開催。科学技術・理科・数学等における複数分野の知識・技能を競い合った。

(3) 教職員現職教育計画に基づいて、各種研修会や講習会を開催し、教職員の職責にふさわしい資質・能力の向上に努めるとともに、社会の変化や時代の進展に対応した実践的指導力を習得させるため、各種の研修等を実施した。

(4) 多様化した生徒の心の問題の解決のために、ピュアハートサポートプロジェクトとしてカウンセリング等の各種研修会を開催し、教員の資質向上に努めた。さらに、教育相談専門研修及び関係機関との連携強化のために各種連絡協議会を開催し、教員の実践的指導力の向上を図った。

第2節 学校管理

1 生徒数と教職員数

(1) 県立高等学校の推移

区分		年度									
		23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
全日制	本校	83	83	83	83	84	84	79	79	79	79
	分校	5	5	5	5	5	5	3	2	2	0
定時制	独立	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	併置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	分校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)募集基準として学校数を算定(課程の変更、募集停止を実施した場合、2年以上の生徒が在籍しても学校数に含めない)。

(2) 中学校卒業者の進学状況

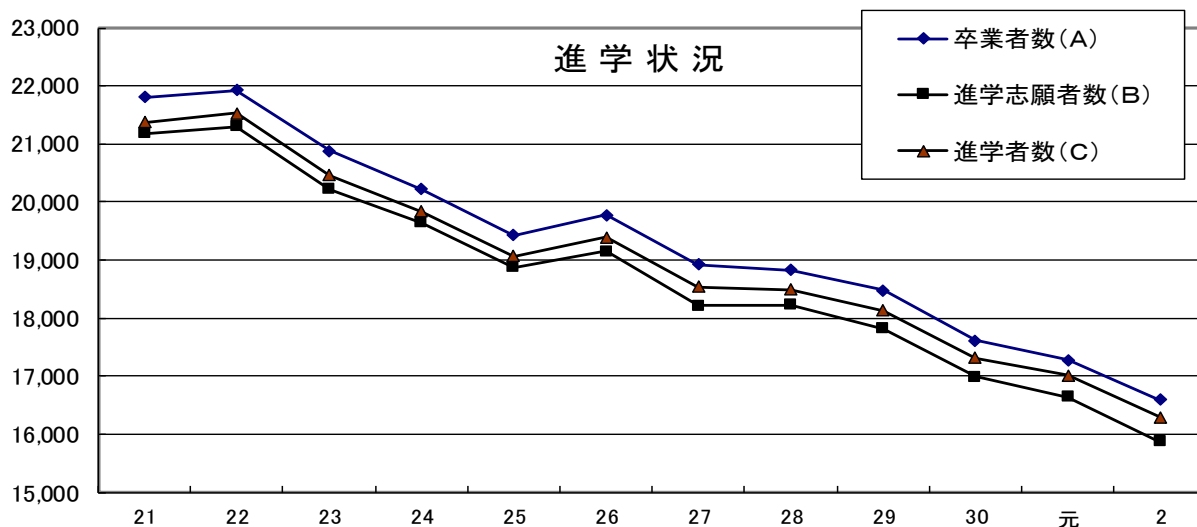
区分	年度											
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
卒業生(A)	21,807	21,930	20,887	20,220	19,427	19,782	18,929	18,824	18,482	17,622	17,276	16,594
進学希望者数(B)	21,176	21,305	20,219	19,659	18,873	19,150	18,215	18,232	17,817	16,990	16,638	15,872
進学者数(C)	21,371	21,529	20,467	19,835	19,072	19,388	18,548	18,487	18,130	17,314	17,019	16,295
進学志願率(B/A)	97.1%	97.2%	96.8%	97.2%	97.1%	96.8%	96.2%	96.9%	96.4%	96.4%	96.3%	95.6%
進学率(C/A)	98.0%	98.2%	98.0%	98.1%	98.2%	98.0%	98.0%	98.2%	98.1%	98.3%	98.5%	98.2%
入学率(C/B)	100.9%	101.1%	101.2%	100.9%	101.1%	101.2%	101.8%	101.4%	101.8%	101.9%	102.3%	102.7%

(注)進学とは中学校卒業者のうち県内外を問わず、高校の全日制、定時制、通信制、別科、高専及び特別支援学校高等部へ進学したことをいう(就職者を含む)。進学志願者数には高校の通信制課程志願者は含まれない。

中学校卒業生数は前年度より 682 名減少し、進学率は前年度より 0.3 ポイント減少、入学率は 0.4 ポイント上昇した。
令和 2 年度の進学者の内訳は次のとおりである。

高等学校全日制	15,165 名 (93.1%)
高等学校定時制	208 名 (1.3%)
高等学校通信制	542 名 (3.3%)
高等学校別科	0 名 (0.0%)
高等専門学校	228 名 (1.4%)
特別支援学校高等部	152 名 (0.9%)

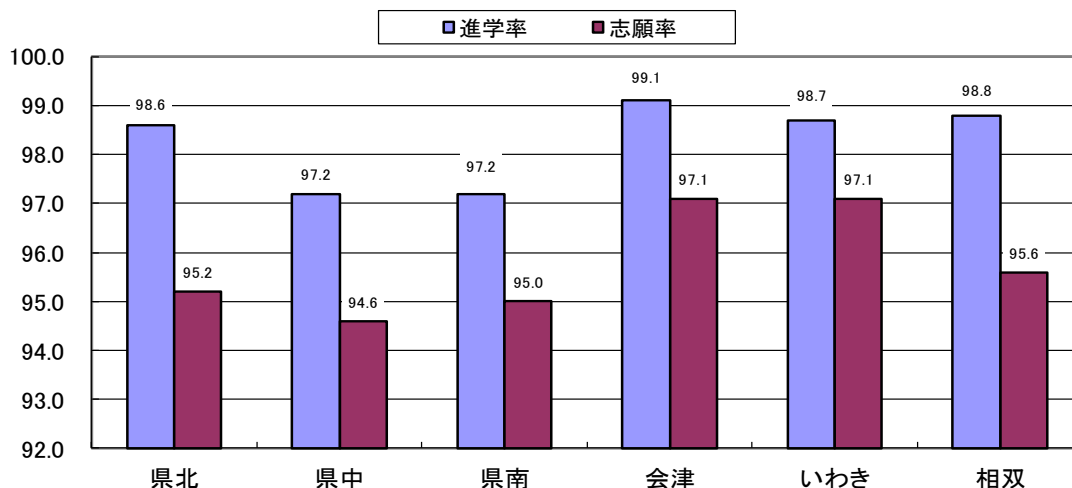
ア 中学校卒業生の進学状況の推移、進学率の推移



○高校進学率 (%)

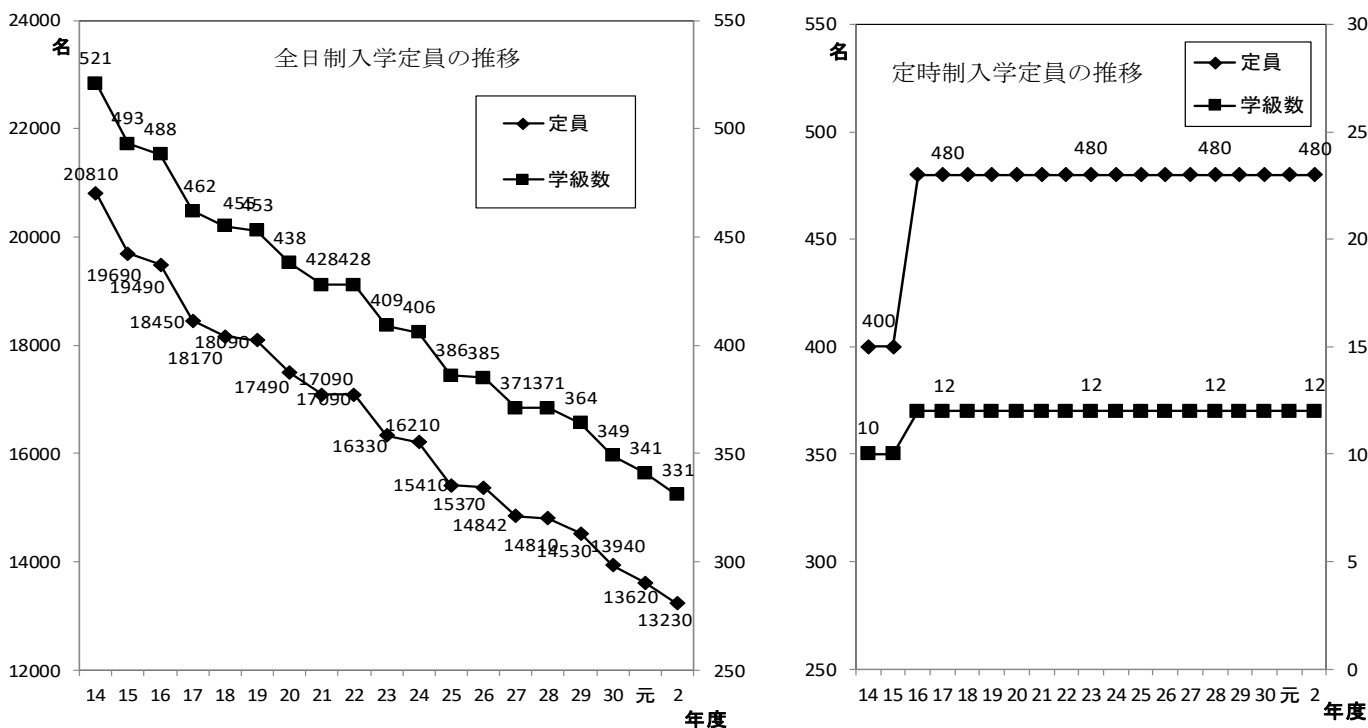
年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
全国	96.9	97.0	97.3	97.5	97.6	97.7	97.7	97.8	97.9	98.0	98.2	98.3	98.4	98.4	98.5	98.7	98.8	98.8	98.8	98.8
本県	96.0	96.6	96.9	97.5	97.4	97.8	97.7	97.9	98.0	98.2	98.0	98.1	98.2	98.0	98.0	98.2	98.1	98.3	98.5	98.2

イ 地域別高校志願率・進学率



(3) 県立高等学校入学定員の推移

ア 全日制入学定員並びに定時制入学定員の推移



イ 学級編成基準

学科の区分	全日制	定時制	学科の区分	全日制	定時制
普通科	35, 40	40	国際文化に関する学科	40	-
農業に関する学科	40	-	英語に関する学科	40	-
工業に関する学科	40	40	体育に関する学科	40	-
商業に関する学科	40	-	美術に関する学科	40	-
家庭に関する学科	40	-	国際科学に関する学科	40	-
水産に関する学科	40	-	総合学科	40	-
理数に関する学科	40	-	国際・スポーツに関する学科	40	-
文理に関する学科	40	-			

(4) 県立高等学校全日制課程入学状況の推移

年度	中学校卒業生数	入学定員		志願者数		志願倍率	入学者数	
	A	B 定員	B/A (%)	C 志願者数	C/A (%)	C/B (%)	D 入学者数	D/C (%)
23	20,887	16,330	78.2	17,725	84.9	109	15,460	87.2
24	20,220	16,210	80.2	16,961	83.9	105	15,090	89.0
25	19,427	15,410	79.3	16,231	83.5	105	14,307	88.1
26	19,782	15,370	77.7	16,589	83.9	108	14,421	86.9
27	18,929	14,842	78.4	15,716	83.0	106	13,961	88.8
28	18,824	14,810	78.7	15,598	82.9	105	13,945	89.4
29	18,482	14,530	78.6	15,213	82.3	105	13,478	88.6
30	17,622	13,940	79.1	14,439	81.9	104	12,839	88.9
元	17,276	13,620	78.8	13,855	80.2	102	12,426	89.7
2	16,594	13,230	79.7	12,986	78.3	98.2	11,771	90.6

(5) 県立高等学校生徒数（令和2.5.1現在）

課程 学科の区分		全日制	定時制			専攻科	合計	通信制
			学年制	単位制	計			
普通科	男	8,435	109	257	366		8,801	533
	女	9,363	79	271	350		9,713	525
	計	17,798	188	528	716		18,514	1,058
農業に関する学科	男	1,292					1,292	
	女	1,358					1,358	
	計	2,650					2,650	
工業に関する学科	男	4,980	47		47		5,027	
	女	582	4		4		586	
	計	5,562	51		51		5,613	
商業に関する学科	男	1,477					1,477	
	女	2,632					2,632	
	計	4,109					4,109	
家庭に関する学科	男	11					11	
	女	32					32	
	計	43					43	
水産に関する学科	男	321				45	366	
	女	79				3	82	
	計	400				48	448	
理数に関する学科	男	170					170	
	女	152					152	
	計	322					322	
文理に関する学科	男	323					323	
	女	565					565	
	計	888					888	
国際文化に関する 学科	男	23					23	
	女	95					95	
	計	118					118	
国際・スポーツに 関する学科	男	0					0	
	女	0					0	
	計	0					0	
国際科学に関する 学科	男	136					136	
	女	461					461	
	計	597					597	
英語に関する学科	男	31					31	
	女	86					86	
	計	117					117	
体育に関する学科	男	100					100	
	女	16					16	
	計	116					116	
美術に関する学科	男	13					13	
	女	92					92	
	計	105					105	
総合学科	男	1,464					1,464	
	女	2,148					2,148	
	計	3,612					3,612	
合計	男	18,776	156	257	413	45	19,234	533
	女	17,661	83	271	354	3	18,018	525
	計	36,437	239	528	767	48	37,252	1,058

(6) 県立高等学校通信制課程入学者、卒業者の推移

区分	学校	年度											元	2
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
入学者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	あさか開成高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郡山萌世高校	278	290	216	197	152	133	124	99	87	71	86	84	
	計	278	290	216	197	152	133	124	99	87	71	86	84	

区分	学校	年度											元
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
卒業者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	あさか開成高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郡山萌世高校	218	228	260	223	231	192	155	158	122	121	120	110
	計	218	228	260	223	231	192	155	158	122	121	120	110

(7) 県立高等学校教職員定数の推移

区分	種別	高 等 学 校																			
		全 日 制 ・ 定 時 制										通 信 制									
	課程	全 日 制 ・ 定 時 制										通 信 制									
職種	年度	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
教員	校長	85	85	85	85	86	86	81	81	81	81										
	教諭等	3523	3446	3351	3312	3223	3218	3167	3116	3047	2987	37	37	36	36	36	36	34	33	28	25
	養護教員	110	110	109	106	106	105	102	100	98	96										
	補充教員	148	144	157	153	153	145	137	131	127	124										
	充指導主事	24	23	23	23	23	23	23	23	22	22										
	寄宿舎指導員	5	5	3	3	5	6	7	8	10	10										
	実習助手	330	329	326	326	323	322	320	314	314	308										
	計	4225	4142	4054	4008	3919	3905	3837	3773	3699	3628	37	37	36	36	36	36	34	33	28	25
事務職員	257	256	251	249	245	247	240	232	228	223	6	6	6	6	6	6	6	6	4	4	
その他の職員	技能員																				
	学校司書	58	57	55	53	53	53	53	52	52	52										
	用務員	53	52	49	48	45	41	40	39	42	32										
	ボイラー技師	11	10	11	10	7	6	6	5	6	3										
	栄養士	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4										
	調理給食員	5	4	4	3	3	3	3	3	3	1										
計	131	127	123	118	112	107	106	103	107	92											
練習船	技能職員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9										
	その他の職員	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13										
	計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22										
合計	4635	4547	4450	4397	4298	4281	4205	4130	4056	3965	43	43	42	42	42	42	40	39	32	29	

2 教職員人事・任用

(1) 人事異動の概要

令和元年度の高等学校教職員定数（補充教員は含まない）は、前年度比 77 人減の 3,961 人となった。このうち、教諭等は、前年度比 74 人減の 3,075 人である。

また、特別支援学校については、前年度比 14 人増の 1,672 人となった。このうち教諭等は前年度比 16 人増の 1,432 人となった。

ア 新採用(教諭)について

令和 2 年度は 42 名(国語 4 名・地歴公民 7 名・数学 2 名・理科 3 名・保健体育 2 名・音楽 1 名・英語 4 名・家庭 1 名・農業 4 名・工業 10 名・商業 3 名・水産 1 名)の新採用教員を県立高等学校に配置した。

令和 2 年度に実施した令和 3 年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験は、採用予定者数 40 名程度に対して、高等学校志願者は前年度比 1 名増の 479 名であった。

一次及び二次選考試験の結果、名簿登載者数は 43 名(前年度比 2 名増)となり、大学院猶予者 5 名を除く 38 名(前年度比 4 名減)が新採用教員として配置されることになる。

イ 校長への昇任

県立学校の校長への昇任は、その職責の重要性にかんがみ、資格・人物・指導力等を十分考慮のうえ、教頭から 8 名、教育庁関係から現場復帰による 7 名の登用を見た。これらの管理職は、できる限り自分の専門性をいかせるよう適材を適所に配置し、適正な学校管理運営をするよう努めた。

ウ 異動について

本年度も昨年度同様の方針にのっとり、同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務する者等を含めて 496 名の教諭等の異動が実現した。

経験豊かな教員の転出が促進されたこととともに、定時制・通信制・及び特別支援学校と全日制高校との交流が進んだことは、教育組織の強化充実に資するところであり、全県的に教育水準及び教育効果の向上に役立つものと期待される。

(2) 令和元年度県立学校教員異動基準

I 一般基準

- (ア) 過員解消のための異動は、全県的視野から優先的に取り扱う。
- (イ) 教育課程の適正な運営を期するため、教員組織の均衡化を図り主免許教科を担当させるように努める。
- (ウ) 優秀な人材の定時制(夜間)・通信制・分校及びへき地校への転入を図るとともに、その者が相当年数(3 年以上)勤務した場合の転出については、特に考慮する。
- (エ) 同一校には、原則として、最低 3 年は勤務するものとする。
- (オ) 2 親等以内の者(姻族を含む。)は、原則として、同一校勤務を避ける。
- (カ) 教員人事公募選考制度については、別に定める。

II 異動基準

ア 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

- (ア) 採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務した者(以下「初任者」という。)

- (イ) 異動 2 校目において 3 年以上勤務した者(以下「若年者」という。)

ただし、(ア)、(イ)いずれの場合も、原則として 3 年以上 5 年以内で異動させるものとする。

(「若年者」については平成 21 年度以降の採用者から適用する。)

- (ウ) 同一校に 8 年以上勤務した者

(以下「永年者」という。)

ただし、中通り地域の 4 校(湖南・埴工業・修明・修明鮫川)、会津地域の 4 校(川口・田島・南会津・只見)及び浜通り地域の 2 校(浪江津島・相馬農業飯舘)に 3 年以上勤務した場合は、永年とみなすことができる。

イ 地域、地区及び学校群による基準

教員の適材適所への配置及び教員組織の均衡化を図るため、県内を中通り、会津、浜通りの 3 地域に分け、各地域に所在する学校を学校規模及び交通の利便性等を考慮して、別表①に定める I・II 群に分類し、以下により異動を促進する。

- (ア) 原則として、採用後 20 年以内に 3 地域の学校に勤務するものとする。

- (イ) 農業、工業、商業、看護、福祉等を除く教科の教員については、II 群の学校に勤務している者が同一地区内で異動するときは、原則として I 群の学校に勤務するものとする。

ただし、II 群普通系から II 群専門系への異動、II 群専門系勤務者のうち直近の勤務が I 群校の者の II 群普通系への異動は可とする。

なお、相双地区においては II 群普通系内の異動も可とする。

- (ウ) 農業、工業、商業、看護、福祉等の教科の教員については、全県的視野から地域間で相互に異動させるものとする。

ウ 平成 20 年度以前の採用者について

平成 30 年度までは次の基準(以下「旧基準」という。)

を準用し、下記の(イ) a を満たす者は、上記イ(ア)の規定を満たすものとする。

(ア) 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

- a 初任者
- b 永年者

- (イ) 地区及び学校群による基準

教員組織の均衡化を図るため、県内を県北・県南・会津・いわき・相双の 5 地区に分け、地区ごとに所在する学校の地理的特殊性等を考慮して、別表②に定める A・B・C 3 群に分類し、以下により異動を促進する。

a 原則として次の条件を満たすよう勤務するものとする。

(a) 採用後 15 年以内に 2 地区以上の学校に勤務する。

(b) A・B 2 群の学校に勤務する。ただし、A 群については、採用後 15 年以内とする。

b 県南地区の 4 校（湖南・塙工業・修明・修明鮫川）、会津地区の 4 校（川口・田島・南会津・只見）及び相双地区の 3 校（浪江津島・富岡川内・相馬農業飯館）は、それぞれ 1 地区とみなす。

c 本宮は平成 16 年度より県北地区とし、平成 16 年度以降の転入・在籍者から適用する。

d 群の取扱いの変更は、別表③の適用年度以降に当該校へ転入・在籍した者について適用する。

e 同一学校群内の異動については、次の諸点に留意する。

(a) A 群については、原則として、へき地校間、分校間の異動は行わない。

(b) B 群については、原則として、同一市内間の異動は行わない。ただし、いわき市及び南相馬市は除く。

(c) C 群については同一市内間の異動は行わない。

f 職業に関する学科の教員で、永年者については、全県的視野から地区間で相互に異動することができるものとする。

また、異動後同一校に 3 年以上勤務した場合は、直近の勤務地区内へ異動することができる。

エ 寄宿舎指導員

原則として 2 に準ずるが、採用後 20 年以内に 2 地域の学校に勤務するものとする。

オ 交流

(ア) 学校種別間の交流

高等学校、特別支援学校及び中学校における教育を充実させるため、県立特別支援学校、市町村公立中学校との交流を促進する。

a 県立特別支援学校との交流は教諭、養護教諭、実習助手、寄宿舎指導員を対象とする。

その期間は、教諭及び実習助手については原則として 3 年とし、養護教諭及び寄宿舎指導員については原則として 3 年から 8 年とする。

b 市町村公立中学校との交流は教諭を対象とし、その期間は原則として 2 年とする。

(イ) 他県との交流

他県との交流については、別に定める。

別表① 地域・地区・群学校分類表

地域・地区	群	I		II		
		普通系	専門系	普通系	専門系	
中通り	県北	福島工業（定） 福島北 川俣 梁川 保原 保原（定） 安達 二本松工業 安達東 本宮 福島中央	普通系	福島 橘 福島西 福島東 福島南	専門系	福島商業 福島明成 福島工業
	県中	安積（御館） 湖南 須賀川 須賀川桐陽 清陵情報 長沼 岩瀬農業 石川 田村 船引 小野 郡山萌世	普通系	安積 安積黎明 郡山東 郡山 あさか開成	専門系	郡山商業 郡山北工業
			普通系	白河 白河旭	専門系	白河実業
会津	喜多方 喜多方東 喜多方桐桜 猪苗代 耶麻農業 西会津 大沼 川口 坂下 会津農林 田島 南会津 只見 会津二 会津学鳳中学校	普通系	会津 葵 会津学鳳	専門系	若松商業 会津工業	
浜通り	いわき	いわき総合 いわき光洋 湯本 小名浜 いわき海星 磐城農業 勿来 勿来工業 好間 遠野 四倉 いわき翠の杜	普通系	磐城 磐城桜が丘	専門系	平工業 平商業
	相双	<u>浪江</u> <u>浪江（津島）</u> 富岡 <u>双葉翔陽</u> ふたば未来学園 相馬農業 <u>相馬農業（飯館）</u> 小高産業技術 新地	普通系	双葉 相馬 原町	専門系	相馬東

~~~~~は、平成 29 年 4 月 1 日から休校になった学校。

\_\_\_\_\_は、令和 2 年 4 月 1 日から休校になった学校。



別表② 地区・群別学校分類表

| 群<br>地区 | A                                            | B                                       | C                                                  | 特別支援学校<br>(A群校扱い)                                                                    |
|---------|----------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 北 県     | 福島工業(定) 川俣<br>梁川 保原(定)<br>安達東 福島中央           | 福島商業 福島明成<br>福島北 保原 安達<br>二本松工業 本宮      | 福島 橘 福島工業<br>福島西 福島東<br>福島南                        | 視覚支援(盲)<br>聴覚支援福島(聾福島)<br>大笹生支援(大笹生養護)<br>須賀川支援医大(須賀川養護医大)                           |
| 南 県     | 安積(御館) 長沼<br>石川 船引<br>小野 小野(平田)<br>郡山萌世 白河第二 | 須賀川 須賀川桐陽<br>清陵情報 岩瀬農業<br>光南 白河実業<br>田村 | 安積 安積黎明<br>郡山東 郡山商業<br>郡山北工業 郡山<br>あさか開成<br>白河 白河旭 | 聴覚支援(聾)<br>郡山支援(郡山養護)<br>あぶくま支援(あぶくま養護)<br>須賀川支援(須賀川養護)<br>須賀川支援郡山(須賀川養護郡山)<br>たむら支援 |
|         | 湖南 塙工業 修明<br>修明(鮫川)                          |                                         |                                                    | 西郷支援(西郷養護)<br>石川支援(石川養護)<br>石川支援たまかわ(石川養護分校)                                         |
| 会 津     | 猪苗代 耶麻農業<br>西会津 会津第二                         | 喜多方 喜多方東<br>喜多方桐桜<br>大沼 坂下<br>会津農林      | 会津 葵<br>会津学鳳<br>若松商業<br>会津工業                       | 聴覚支援会津(聾会津)<br>会津支援(会津養護)<br>会津支援竹田(会津養護竹田)<br>猪苗代支援(猪苗代養護)                          |
|         | 川口 田島<br>南会津 只見                              |                                         |                                                    |                                                                                      |
|         | 会津学鳳中学校                                      |                                         |                                                    |                                                                                      |
| いわき     | いわき海星 磐城農業<br>勿来 勿来工業 遠野<br>いわき翠の杜           | いわき総合<br>いわき光洋 湯本<br>小名浜 好間 四倉          | 磐城 磐城桜が丘<br>平工業 平商業                                | 聴覚支援平(聾平)<br>平支援(平養護)<br>いわき支援(いわき養護)<br>いわき支援くぼた(いわき養護くぼた)                          |
| 相 双     | 双葉翔陽 新地                                      | 双葉 浪江 富岡<br>相馬農業<br>小高産業技術              | 相馬 相馬東<br>原町                                       | 富岡支援(富岡養護)<br>相馬支援(相馬養護)                                                             |
|         | 浪江(津島)<br>相馬農業(飯館)                           |                                         |                                                    |                                                                                      |

~~~~~は、平成29年4月1日から休校になった学校。

~~~~~は、令和2年4月1日から休校になった学校。

別表③

| 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 |
|-------|---|------|-------|---|------|-------|---|------|
| 小野    | A | 昭和52 | 白河実業  | B | 昭和61 | 棚倉    | A | 平成10 |
| 福島明成  | B | 昭和56 | 川俣    | A | 平成2  | 東白川農商 | A | 〃    |
| 福島北   | B | 〃    | 福島商業  | B | 〃    | あさか開成 | C | 平成11 |
| いわき海星 | A | 〃    | 梁川    | A | 平成8  | 光南    | B | 〃    |
| 磐城農業  | A | 〃    | 船引    | A | 〃    | 石川    | A | 〃    |
| 勿来工業  | A | 〃    | いわき光洋 | C | 〃    | いわき光洋 | B | 平成16 |
| 双葉翔陽  | A | 〃    | 勿来    | A | 〃    |       |   |      |
| 猪苗代   | A | 昭和58 | 相馬農業  | B | 〃    |       |   |      |

**(3) 教頭複数制実施校(令和2年度実績)**

|        |       |       |         |
|--------|-------|-------|---------|
| 福島     | 橘     | 福島商業  | 福島明成    |
| 福島工業   | 福島西   | 福島東   | 保原      |
| 安積     | 安積黎明  | 郡山東   | 郡山北工    |
| 郡山     | 須賀川   | 清陵情報  | 岩瀬農業    |
| 光南     | 白河    | 白河実業  | 修明      |
| 田村     | 会津    | 葵     | 会津学鳳    |
| 会津工業   | 喜多方桐桜 | 磐城    | 磐城桜が丘   |
| 平工業    | いわき総合 | 湯本    | ふたば未来学園 |
| 小高産業技術 | 郡山萌世  |       |         |
| 視覚支援   | 聴覚支援  | 大笹生支援 | 郡山支援    |
| あぶくま支援 | 須賀川支援 | 西郷支援  | 石川支援    |
| たむら支援  | 会津支援  | 平支援   | いわき支援   |
| 富岡支援   |       |       |         |

**3 学校の設置及び統廃合**

**- 公立高等学校の設置・廃止等(令和3年度) -**

**(1) 学校の新設・廃止等**

ア 統合に伴う学校廃止 全日制4校12学級

| 課程  | 学校名   | 内 容                                    |
|-----|-------|----------------------------------------|
| 全日制 | 喜多方   | 普通科4学級                                 |
|     | 喜多方東  | 普通科2学級                                 |
|     | 小名浜   | 普通科1学級、商業科1学級                          |
|     | いわき海星 | 海洋科1学級、食品システム科1学級<br>情報通信科1学級、海洋工学科1学級 |

イ 統合に伴う学校新設 全日制2校10学級

| 課程  | 学校名   | 内 容                                                  |
|-----|-------|------------------------------------------------------|
| 全日制 | 喜多方   | 普通科5学級                                               |
|     | 小名浜海星 | 普通科1学級、商業科1学級<br>海洋科・情報通信科1学級<br>食品システム科1学級、海洋工学科1学級 |

ウ ふたば未来学園高等学校開校に伴い、避難区域にある高等学校の生徒募集休止による休校 全日制6校  
 双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、  
 富岡高等学校、双葉翔陽高等学校、相馬農業高等学校飯館校

**(2) 学級増**

なし

**(3) 学級減**

全日制10校10学級

| 課程  | 学校名    | 内 容        |
|-----|--------|------------|
| 全日制 | 福島工業   | 機械科1学級     |
|     | 福島西    | 普通科1学級     |
|     | 本宮     | 情報会計科1学級   |
|     | 郡山東    | 普通科1学級     |
|     | 郡山     | 普通科1学級     |
|     | あさか開成  | 国際科学科1学級   |
|     | 小野     | 総合学科1学級    |
|     | 会津学鳳   | 総合学科1学級    |
|     | 平商業    | 情報システム科1学級 |
|     | 小高産業技術 | 機械科1学級     |

**(4) 募集停止**

全日制2校3学級

| 課程  | 学校名  | 内 容             |
|-----|------|-----------------|
| 全日制 | 会津工業 | 電気科1学級、情報技術科1学級 |
|     | 勿来工業 | 電子科1学級          |

**(5) 35人学級編制**

全日制1校2学級

| 課程  | 学校名 | 内 容    |
|-----|-----|--------|
| 全日制 | 南会津 | 普通科2学級 |

**(6) 課程廃止**

なし

**(7) 学科転換・学科改編・学科新設**

(学科新設) 会津工業高等学校 電気情報科1学級

**(8) 学科名変更**

なし

**(9) 校名変更**

なし

**(10) 連携型中高一貫教育校**

| 課程  | 学校名     | 連携中学校                                                   |
|-----|---------|---------------------------------------------------------|
| 全日制 | 埴工業     | 埴                                                       |
|     | 田島      | 田島、荒海                                                   |
|     | ふたば未来学園 | 浪江、浪江東、津島、<br>なみえ創成、葛尾、双葉、<br>大熊、富岡第一、富岡第二、<br>川内、檜葉、広野 |
|     | 相馬東     | 中村第一、中村第二、<br>向陽、磯部                                     |

**(11) 併設型中高一貫教育校**

会津学鳳高等学校(会津学鳳中学校)

ふたば未来学園高等学校(ふたば未来学園中学校)

**(12) 定時制・通信制**

変更なし

**(13) 専攻科**

ア 統合に伴う学校廃止

いわき海星高等学校 海洋科、無線通信科、機関科

イ 統合に伴う学校新設

小名浜海星高等学校 海洋科、無線通信科、機関科

## 第3節 学校教育

### 1 概要

#### (1) 指導行政の基本方針

生徒の能力・適性、進路・関心等を十分考慮し、地域や学校の実態に応じた教育指導の充実を図りながら、人間性豊かな生徒の育成を目指して、学校教育活動が活発に展開されるよう次の重点目標を設定し、その達成に努めた。

ア 生徒の実態等を踏まえ、各学校が主体性をもって、多様な教育課程を編成し、特色ある学校づくりができるよう指導・援助する。

イ 指導内容の精選と構造化に努め、言語活動の充実と生徒のよい点を積極的に評価するなどの評価の改善を進めることにより、生徒一人一人の個性を生かす指導方法の工夫・改善が図られるよう指導・援助する。

ウ 生徒指導の組織・体制を点検するとともに、教職員の共通理解を基盤として、中学校や家庭との連携を深めながら、生徒理解に基づいた指導が展開されるよう、指導・援助する。

エ 生徒の学校生活への適応を促し、中途退学者の減少及び問題行動・生徒事故の未然防止が図られるよう指導・援助する。

オ 教職員の資質と指導力の向上に努める。

カ 勤労観・職業観の育成にかかわる体験的な学習及び産業教育、情報教育の推進を図る。

#### (2) 指導組織

高校教育課長を中心に、主幹、主任指導主事及び指導主事が一体となって、それぞれの分掌に従い、企画・運営・指導助言に当たった。

また、学校教育指導委員の指名については、県立高校教諭及び養護教諭26名を指名し、各教科等の指導活動の充実・強化を図った。

#### (3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

ア 教育課程の適切な運営と指導法の改善を図る。

(ア) 教育課程の適正な実施について、校長会、教頭会において周知徹底を図った。

(イ) 福島県高等学校教育課程講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。代わりに、新高等学校学習指導要領の趣旨の徹底を図り、教育課程実施に伴う諸問題について理解を深めるための資料を配付したうえで、レポートの提出を課した。

イ 学力向上を図る。

「オールふくしま学力向上推進事業」として、生徒の進路希望実現を目指した各学校の学力向上やキャリア教育に関する取組の支援、授業改善や進学指導力向上のための研究会などを実施した。また、将来社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、難関大学進学への意識、意欲の高い生徒を対象とした学習セミナーを実施

した。さらに、対象校の進路指導担当者を出席者とする学力向上連絡協議会を実施した。

ウ 生徒指導の充実を図る。

(ア) 各種研修会、学校訪問等の指導を通して、校内における指導体制の確立を図るとともに、教職員の共通理解を図り、同一歩調による生徒指導の充実に努めた。

(イ) 生徒指導担当者研修会を開催し、生徒の多様化に即した生徒指導の在り方、開かれた生徒指導の在り方について研究協議を行った。

(ウ) 学校における教育相談体制の確立と教育相談活動の改善・充実を図った。

(エ) スクールカウンセラー活用事業として、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめや不登校等生徒の問題行動の解決に当たった。

エ 進路指導の充実を図る。

各種の研修会や講座を通して、下記事項の徹底に努めた。

(ア) キャリア教育の観点より低学年からの計画的・組織的な進路指導を通じ進路意識の高揚に努めること。

(イ) ホームルーム活動における進路指導の充実に努めること。

(ウ) 面談や諸調査・諸検査を通して、生徒の能力・適性・進路の希望等を的確に把握すること。

(エ) 生徒の自己理解の促進に努めること。

(オ) 進路指導室の整備及び進路に関する情報や資料の収集に努めるとともに、その効果的な活用を図ること。

(カ) 組織的・計画的な進路相談の充実に努めること。

(キ) きめ細かな就職指導の充実・徹底に努めること。

オ 産業教育の充実を図る。

産業教育の改善・充実を図るため、施設・設備の充実及び情報教育の推進に努めた。

(ア) 体験入学の内容の質的改善・充実に努めた。

(イ) 情報教育の充実のため、教員の研修に努めた。

(ウ) 産業教育関係機関との連携により、産業教育の振興に努めた。

#### (4) 教職員の資質の向上と学校管理運営の充実

ア 現職教育の充実

(ア) 校内における研修体制の改善・充実を図った。

(イ) 研修会、講習会等への積極的な参加を促進し、指導力の向上を図った。

(ウ) 自己研修の充実により、教職員の能力が効果的に発揮されるように努めた。

イ 学校管理運営の適正化

(ア) 学校経営・運営ビジョンを定め、その達成度を客観的に評価し、その結果を公表するように努めた。

(イ) 管理者が学校管理運営について積極的に指導助言を行うよう努めた。

(ウ) 諸表簿の整理と保管、設備・備品の管理と活用については、適正に行われるように努めた。

- (エ) 学校事務の責任分担を明確にし、正確、敏速、円滑に処理するよう努めた。
- (オ) 各種調査報告について、厳正、的確に作成し、期限の厳守に努めた。

#### ウ 勤務体制の確立

教職員の勤務内容を明確にし、その実績について客観的に評価できるようにした。

#### エ 使命感の高揚

- (ア) 教育公務員としての使命感に徹し、規律と責任ある体制を整え、教育能率の向上に努めた。
- (イ) 教育公務員としての立場を自覚するとともに、服務倫理委員会を活用して事故防止に努め、社会的信用を失墜させることのないようにした。
- (ウ) 絶えず自己研修に努め、豊かな知性を養い、指導力を高め、職責を十分果たせるようにした。

### (5) 教育環境の整備充実

#### ア 学習環境の整備充実

- (ア) 環境整備については、方針を確立し、年次計画による充実を図った。
- (イ) 学習環境を整備し、学習意欲の高揚を図った。
- (ウ) 施設・設備の管理と運営の適正化を図った。

#### イ 学校事故防止の徹底

- (ア) 安全教育の計画的実施と、事故防止を配慮した環境の整備改善に努めた。
- (イ) 学校事故、教職員事故の防止については、適切な対策を講じ、事故の絶無を期した。
- (ウ) 指導・管理の充実を図るため、関係機関、団体等との連携を密にして協力体制の確立に努めた。

### (6) 県立高等学校入学者選抜

#### ア 基本方針

令和3年度福島県立高等学校入学者選抜における基本方針

#### (ア) 特色選抜

特色選抜は、各高等学校が自校の特色に応じてどのような受験生に志願してほしいかを選抜方法と併せて明示し、受験生は、それに従って自分の志願したい高等学校を主体的に選択し出願できる選抜とする。選抜に当たっては、受験生の個性や学ぶ意欲を重視するとともに、自校の特色に応じた選抜となるよう選抜資料を活用し、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

なお、特色選抜の性格をより明確にするため、各高等学校の「志願してほしい生徒像」については、より具体的な記載を可能とする。

- a 選抜に当たっては、志願理由書の記載内容、調査書の審査結果、学力検査の成績及び特色選抜に係る面接（以下「特色面接」という。）の結果を資料とする。なお、各高等学校の判断により、学校の特色や学科の特性に応じて、小論文（又は作文）、実技等（以下「特色検査」という。）の結果を選抜資料に加えることができるものとする。

- b 特色選抜においては、各高等学校が自校の教育目標にふさわしい入学者を選抜するため、受験生を多面的・多角的に評価するための資料の一つとして特色面接の結果及び特色検査を実施した場合にはその結果を積極的に活用するものとする。

- c 特色選抜の定員枠については、県教育委員会が定める範囲の中で、各高等学校が、その特色や学科の特性に応じて設定するものとする。

- d 合否の判定に当たっては、調査書の審査結果、学力検査の成績、特色面接の結果及び特色検査を実施した場合にはその結果の比重を、県教育委員会が定めた範囲内で各高等学校がその特色や学科の特性に応じて定めるものとする。

#### (イ) 一般選抜

一般選抜は、中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜とする。選抜に当たっては、学力検査の成績、調査書の審査結果を資料とし、さらに一般選抜に係る面接（以下「一般面接」という。）を実施する高等学校においては一般面接の結果を併せて資料とし、各学校の特色、学科の特性等に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

- a 特定の教科の学力検査の配点の比重を変える傾斜配点については、各学校の特色・学科の特性を考慮し、各高等学校の判断により実施することができるものとする。

また、志願者の自己申告による傾斜配点についても、各高等学校の判断により実施できるものとする。

- b 一般選抜の合否判定に当たっては、学力検査と調査書の成績の比重を原則として同等とする。

ただし、各高等学校が自校の特色化を図るために必要と判断する場合には、学力検査と調査書の成績の比重を変えることができるものとする。

- c 一般面接については、各高等学校の判断により実施できるものとする。

#### (ウ) 後期選抜

後期選抜は、前期選抜及び連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（以下「連携型選抜」という。）により定員（併設型中高一貫教育校における高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中高一貫教育校における中学校から当該高等学校への入学を志願する者の数を除いた数とする。）を充足しない高等学校において実施するものとし、前期選抜及び連携型選抜の受験の有無にかかわらず出願できる選抜とする。

選抜に当たっては、調査書の審査結果、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を資料として、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

なお、前期選抜又は連携型選抜に合格した者は出願できないものとする。

- a 選抜に当たっては、調査書の成績とともに、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を十分に精査する。
- b 前期選抜に係る学力検査の成績は、後期選抜の資料とはしないものとする。
- c 後期選抜における面接は、受験生の学ぶ意欲をみる内容とともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を含むことができるものとする。

なお、併設型中高一貫教育校における中学校から当該中学校に係る併設型中高一貫教育校における高等学校への入学を志願する者については、各選抜に願出することはできないものとする。

**前期選抜・後期選抜における新型コロナウイルス感染症に係る特例措置**

- 1 学力検査の出題範囲について、次のとおり取扱う。
  - (1) すべての教科で出題範囲を縮小する。
  - (2) 3年生最後の学習分野を中心に、出題範囲から除外する。
- 2 令和3年度県立高等学校入学者選抜における令和2年度（中学校3年時）の大会実績等について、次のとおり取扱う。
  - (1) 特色選抜の「志願してほしい生徒像」の記載において、大会実績や資格取得等のみで出願要件を限定しない。
  - (2) 実技試験や面接の工夫により、新型コロナウイルス感染症により大会実績等を残せなかった志願者が不利益を被らないようにする。
  - (3) 入学者の判定において、令和2年度（中学校3年時）の大会等の実績は選抜資料としない。（調査書の「特別活動等の記録」の「その他の活動」及び「長所・特技等の記録」において、1、2年時の実績は点数化するが、3年時の実績は点数化しない等）  
ただし、資格試験については今後実施される可能性があるため、令和2年度（中学校3年時）の資格試験の成績を選抜資料とすることができる。
- 3 令和3年度県立高等学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応について、次のとおり取扱う。
  - (1) 対応の方針
    - ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受験できないこととされた者に配慮し、新たな選抜を設定することで、受験機会を確保する。
    - ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入学者選抜実施上の留意事項等を定める。
  - (2) 高校入試を受験できる者、受験できない者の明確化  
文部科学省の通知に従い、大学入学共通テストの新型コロナウイルス感染症予防対策に準じて、受験できる者と受験できない者を明確にする。

**受験できない者**

- ① 新型コロナウイルス感染症に感染し、各選抜の前日までに退院基準・解除基準を満たさない者

- ② 濃厚接触者で症状がある者
- ③ 無症状の濃厚接触者で、初期スクリーニング検査結果が判明していない者
- ④ 無症状の濃厚接触者で、公共交通機関を利用せずに試験場に到着できない者
- ⑤ 「健康状態チェックリスト」の結果で試験を受けることができない者

- ・ 受験生は検温の結果と該当箇所にチェックをした「健康状態チェックリスト」を受験日ごとに持参し、受験校の受付に提出する。
- ・ 受験生は試験日の7日前から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認する。
- ・ 試験日の2週間前から発熱・咳等の症状が継続している受験生は、あらかじめ医療機関で受診する。
- (3) 新たな新型コロナウイルス感染症対応選抜の設定  
高校入試は、前期・連携型選抜（3月3日～5日）、追検査（3月10日、11日）、合格者発表（3月15日）、後期選抜（3月22日 定員を充足しない高校で実施）の日程であるため、上記の「受験できない者」に対し配慮し、新たに新型コロナウイルス感染症対応選抜を設定し、受験機会を確保した。
  - ① 新型コロナウイルス感染症対応選抜第1日程
    - ア 対象 前期選抜、連携型選抜及び追検査等において、「受験できない者」となり、受験できなかった者
    - イ 定員 別に公告した募集定員の3%（募集定員の外枠。出願先変更はできない。）
    - ウ 実施日 令和3年3月22日（月）（後期選抜と同日）
  - ② 新型コロナウイルス感染症対応選抜第2日程
    - ア 対象 新型コロナウイルス感染症対応選抜第1日程の不合格者、新型コロナウイルス感染症対応選抜第1日程又は後期選抜において、「受験できない者」となり受験できなかった者
    - イ 定員 募集定員から、前期選抜、連携型選抜及び後期選抜の合格者数を除いた数とする。（後期選抜終了後、定員を充足しない高校で実施）
    - ウ 実施日 令和3年3月25日（木）
- (4) 新型コロナウイルス感染症に対応した入学者選抜実施上の留意事項  
事前の準備として別室の確保、受験場の座席間の距離の確保等を行うとともに検査当日は受付における健康状態のチェック、検査実施時における十分な換気、マスクの着用の義務づけ、手指消毒の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入学者選抜実施上の留意事項等を定める。

(エ) 連携型選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校（以下「連携型高等学校」という。）において、連携型中高一貫教育を実施する中学校（以下「連携型中学校」という。）から目的意識や意欲のある生徒の入学を促進し、6年間を通して生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を図るため、連携型選抜を実施する。

a 募集定員枠については、別に公告する募集定員の30%を下限とし、各連携型高等学校が学校・学科の特色や地域の特性に応じて設定する。

ただし、定員枠については、当該高等学校長はあらかじめ県教育委員会と協議するものとする。

また、特色選抜の募集定員枠は、これとは別に設定するものとし、併設型中高一貫教育校における高等学校においては、これらの割合について、別に公告する募集定員から当該高等学校に係る併設型中高一貫教育校における中学校の第3学年に在学する者（11月1日現在）の数を除いた数に対する割合とする。

なお、可否の判定に当たっては、志願者の動向や各学校・学科の実態に応じて、弾力的に対応することができる。

b 連携型高等学校の連携型選抜に出願することができる者は、当該高等学校と連携している中学校を卒業する見込みの者とする。

なお、連携型中学校を卒業する見込みの者は、当該中学校と連携している高等学校の特色選抜へ出願することはできない。

c 受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、連携している内容に応じた選抜となるよう配慮し、各連携型高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

d 志願者全員に学力検査を課す。学力検査を実施する教科は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科とし、学力検査の問題作成や配点については、前期選抜と同様とする。

e 選抜に当たっては、中学校長から提出された調査書の審査結果、学力検査の成績及び連携型選抜に係る面接（以下「連携型面接」という。）の結果を資料とする。

なお、各連携型高等学校長の判断により、各連携型高等学校が連携している教育課程に基づいた内容に応じた選抜方法に加え、学校の特色や学科の特性等に関する内容に応じた選抜方法（以下これらを「連携型検査」という。）を選択して実施した場合には、それらの結果を併せて資料として選抜を行うことができるものとする。

f 可否の判定に当たっては、調査書の審査結果、学力検査の成績、連携型面接の結果及び連携型検査を実施した場合にはその結果の比重を、県教育委員会が定めた範囲内で各高等学校がその特色や学科の特性に応じて定めるものとする。

g 連携型選抜の志願者は、出願した高等学校において一般選抜にも出願できるものとするが、その場合、各連携型高等学校は、連携型選抜、一般選抜の順位に可否判定を行う。

h 連携型選抜に出願する者は、特色選抜との併願はできない。

**連携型選抜における新型コロナウイルス感染症に係る特例措置**

1 学力検査の出題範囲について、次のとおり取扱う。

- (1) すべての教科で出題範囲を縮小する。
- (2) 3年生最後の学習分野を中心に、出題範囲から除外する。

2 令和3年度県立高等学校入学者選抜における令和2年度（中学校3年時）の大会実績等について、次のとおり取扱う。

- (1) 実技試験や面接の工夫により、新型コロナウイルス感染症により大会実績等を残せなかった志願者が不利益を被らないようにする。
- (2) 入学者の判定において、令和2年度（中学校3年時）の大会等の実績は選抜資料としない。（調査書の「特別活動等の記録」の「その他の活動」及び「長所・特技等の記録」において、1、2年時の実績は点数化するが、3年時の実績は点数化しない等）

ただし、資格試験については今後実施される可能性があるため、令和2年度（中学校3年時）の資格試験の成績を選抜資料とすることができる。

3 令和3年度県立高等学校入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応について、次のとおり取扱う。

- (1) 対応の方針
  - ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受験できないこととされた者に配慮し、新たな選抜を設定することで、受験機会を確保する。
  - ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入学者選抜実施上の留意事項等を定める。
- (2) 高校入試を受験できる者、受験できない者の明確化  
文部科学省の通知に従い、大学入学共通テストの新型コロナウイルス感染症予防対策に準じて、受験できる者と受験できない者を明確にする。

| 受験できない者                                      |
|----------------------------------------------|
| ① 新型コロナウイルス感染症に感染し、各選抜の前日までに退院基準・解除基準を満たさない者 |
| ② 濃厚接触者で症状がある者                               |
| ③ 無症状の濃厚接触者で、初期スクリーニング検査結果が判明していない者          |
| ④ 無症状の濃厚接触者で、公共交通機関を利用せずに試験場に到着できない者         |
| ⑤ 「健康状態チェックリスト」の結果で試験を受けることができない者            |

- ・ 受験生は検温の結果と該当箇所にチェックをした「健康状態チェックリスト」を受験日ごとに持参し、受験校の受付に提出する。
- ・ 受験生は試験日の7日前から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認する。
- ・ 試験日の2週間前から発熱・咳等の症状が継続している受験生は、あらかじめ医療機関で受診する。

(3) 新たな新型コロナウイルス感染症対応選抜の設定  
 高校入試は、前期・連携型選抜(3月3日～5日)、追検査(3月10日、11日)、合格者発表(3月15日)、後期選抜(3月22日 定員を充足しない高校で実施)の日程であるため、上記の「受験できない者」に対し配慮し、新たに新型コロナウイルス感染症対応選抜を設定し、受験機会を確保した。

- ① 新型コロナウイルス感染症対応選抜第1日程
- ア 対象 前期選抜、連携型選抜及び追検査等において、「受験できない者」となり、受験できなかった者
- イ 定員 別に公告した募集定員の3%(募集定員の外枠。出願先変更はできない。)
- ウ 実施日 令和3年3月22日(月)(後期選抜と同日)

- ② 新型コロナウイルス感染症対応選抜第2日程
- ア 対象 新型コロナウイルス感染症対応選抜第1日程の不合格者、新型コロナウイルス感染症対応選抜第1日程又は後期選抜において、「受験できない者」となり受験できなかった者
- イ 定員 募集定員から、前期選抜、連携型選抜及び後期選抜の合格者数を除いた数とする。(後期選抜終了後、定員を充足しない高校で実施)
- ウ 実施日 令和3年3月25日(木)

(4) 新型コロナウイルス感染症に対応した入学者選抜実施上の留意事項事前の準備として別室の確保、受験場の座席間の距離の確保等を行うとともに検査当日は受付における健康状態のチェック、検査実施時における十分な換気、マスクの着用の義務づけ、手指消毒の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入学者選抜実施上の留意事項等を定める。

- イ 入学者選抜関係日程
- 6月9日 第1回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議
- 7月13日 第2回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議
- 8月4日 第3回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

8月4日 県立中学校・高等学校入学者選抜方法の改善等に関する調査研究報告書提出

10月6日～10月13日  
 県北・県中・県南・会津・南会津・いわき・相双の7地区で入学者選抜実施要綱説明会実施

10月16日 令和3年度入学者募集定員決定

- (ア) 前期選抜関係日程
- 2月4日～2月9日 出願書類受付
- 2月10日～2月15日 出願先変更
- 2月16日～2月17日 調査書提出
- 3月3日 学力検査
- 3月3日～3月5日 面接等
- 3月10日～3月11日 追検査等
- 3月15日 合格者発表
- (イ) 後期選抜関係日程
- 3月16日～3月17日 出願書類受付
- 3月18日 出願先変更
- 3月22日 面接等
- 3月23日 合格者発表
- (ウ) 連携型選抜関係日程
- 2月4日～2月9日 出願書類受付
- 2月10日～2月15日 出願先変更
- 2月16日～2月17日 調査書提出
- 3月3日 学力検査
- 3月3日～3月5日 面接等
- 3月10日～3月11日 追検査等
- 3月15日 合格者発表
- (エ) 新型コロナウイルス感染症対応選抜関係日程(第1日程)
- 3月16日～3月17日 出願書類受付
- 3月22日 検査等
- 3月23日 合格者発表
- (オ) 新型コロナウイルス感染症対応選抜関係日程(第2日程)
- 3月24日 出願書類受付
- 3月25日 検査等
- 3月26日 合格者発表
- (カ) 通信制の課程選抜日程
- 2月4日～3月26日 出願書類受付
- 4月5日 合格者発表(個人宛通知)

ウ ふたば未来学園高等学校の入学者選抜  
 平成27年度入学者選抜において、双葉高等学校(普通科)、浪江高等学校(普通科)、浪江高等学校津島校(普通科)、富岡高等学校(国際・スポーツ科)、双葉翔陽高等学校(総合学科)を募集停止とし、平成27年4月にふたば未来学園高等学校を開校した。令和3年度連携型選抜においては、次の(ア)～(ウ)に該当する者を出願資格を有する者とした。

(ア) 出願時にJFAアカデミー福島又は双葉地区未来創造型リーダー育成構想(新双葉地区教育構想)ピクトリプログラムに参加している者

双葉郡富岡町立富岡第二中学校

双葉郡川内村立川内中学校

双葉郡檜葉町立檜葉中学校

(イ) 次の双葉郡の中学校に在籍している者

双葉郡広野町立広野中学校

双葉郡浪江町立浪江中学校

(ウ) ふたば未来学園高等学校との連携型中高一貫教育を実施している中学校に在籍している者以外で、東日本大震災が発生した時に、双葉郡内に居住していた者又は双葉郡内に保護者が居住していた者で、中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校若しくは中等教育学校の前期課程を令和3年3月に卒業見込又は修了見込の者

双葉郡浪江町立浪江東中学校

双葉郡浪江町立津島中学校

双葉郡浪江町立なみえ創成中学校

双葉郡葛尾村立葛尾中学校

双葉郡双葉町立双葉中学校

双葉郡大熊町立大熊中学校

双葉郡富岡町立富岡第一中学校

エ 志願者数・合格者数

◇各選抜ごとの集計

※「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

(ア) 特色選抜

《全日制》

| 学科   | 入学定員   | 特色選抜定員 | 志願者数  | 志願倍率 | 合格者数  |
|------|--------|--------|-------|------|-------|
| 普通科等 | 7,030  | 1,311  | 992   | 0.76 | 823   |
| 農業   | 1,040  | 208    | 113   | 0.54 | 96    |
| 水産   | 120    | 48     | 23    | 0.48 | 21    |
| 工業   | 1,840  | 479    | 328   | 0.68 | 259   |
| 商業   | 1,360  | 437    | 419   | 0.96 | 353   |
| 家庭   | 40     | 14     | 1     | 0.07 | 1     |
| 総合   | 1,240  | 378    | 312   | 0.83 | 270   |
| 計    | 12,670 | 2,875  | 2,188 | 0.76 | 1,823 |

《定時制》

| 学科 | 入学定員 | 特色選抜定員 | 志願者数 | 志願倍率 | 合格者数 |
|----|------|--------|------|------|------|
| 普通 | 440  | 74     | 7    | 0.09 | 3    |
| 工業 | 40   | 8      | 0    | 0.00 | 0    |
| 計  | 480  | 82     | 7    | 0.09 | 3    |

(イ) 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜(連携型選抜)

| 学科 | 入学定員 | 連携型選抜定員 | 志願者数 | 志願倍率 | 合格内定者数 |
|----|------|---------|------|------|--------|
| 普通 | 80   | 32      | 32   | 1.00 | 32     |
| 工業 | 80   | 32      | 2    | 0.06 | 2      |
| 総合 | 320  | 106     | 90   | 0.85 | 83     |
| 計  | 480  | 170     | 124  | 0.73 | 117    |



## (ウ) 前期選抜、連携型選抜

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員   | 志願者数   | 志願倍率 | 合格者数   |
|------|--------|--------|------|--------|
| 普通科等 | 7,030  | 6,864  | 0.98 | 6,069  |
| 農 業  | 1,040  | 887    | 0.85 | 826    |
| 水 産  | 120    | 116    | 0.97 | 109    |
| 工 業  | 1,840  | 1,697  | 0.92 | 1,552  |
| 商 業  | 1,360  | 1,294  | 0.95 | 1,173  |
| 家 庭  | 40     | 20     | 0.50 | 18     |
| 総 合  | 1,240  | 928    | 0.81 | 943    |
| 計    | 12,670 | 11,806 | 0.94 | 10,690 |

※ 「総合」及び「計」の志願倍率は、会津学鳳中学校から会津学鳳高等学校への入学予定者 85 名と、ふたば未来学園中学校からふたば未来学園高等学校への入学予定者 13 名を、入学定員から減じて算出した値である。

## 《定時制》

| 学科  | 入学定員 | 志願者数 | 志願倍率 | 合格者数 |
|-----|------|------|------|------|
| 普 通 | 440  | 208  | 0.47 | 174  |
| 工 業 | 40   | 11   | 0.28 | 8    |
| 計   | 480  | 219  | 0.46 | 182  |

## (エ) 外国人生徒等に係る特別枠選抜

| 学校名   | 学科名  | 定員  | 志願者数 | 合格者数 |
|-------|------|-----|------|------|
| 福島北   | 総 合  | 若干名 | 0    | 0    |
| 福島南   | 国際文化 | 若干名 | 4    | 1    |
| あさか開成 | 国際科学 | 若干名 | 3    | 2    |
| 光 南   | 総 合  | 若干名 | 0    | 0    |
| 会津学鳳  | 総 合  | 若干名 | 0    | 0    |
| 湯 本   | 普 通  | 若干名 | 0    | 0    |
| 相馬東   | 総 合  | 若干名 | 0    | 0    |

## (オ) 後期選抜

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員  | 志願者数 | 合格者数 |
|------|-------|------|------|
| 普通科等 | 961   | 134  | 118  |
| 農 業  | 214   | 33   | 25   |
| 水 産  | 11    | 3    | 3    |
| 工 業  | 288   | 21   | 20   |
| 商 業  | 187   | 29   | 28   |
| 家 庭  | 22    | 2    | 2    |
| 総 合  | 199   | 22   | 22   |
| 計    | 1,882 | 244  | 218  |

## 《定時制》

| 学科  | 入学定員 | 志願者数 | 合格者数 |
|-----|------|------|------|
| 普 通 | 266  | 44   | 23   |
| 工 業 | 32   | 2    | 0    |
| 計   | 298  | 46   | 23   |

## ◇後期選抜実施後の最終集計

※「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員   | 特色選抜<br>合格者数 | 連携型選抜<br>合格者数 | 前期選抜<br>連携型選抜<br>合格者数 | 後 期 選 抜<br>合 格 者 数 | 合格者数   |
|------|--------|--------------|---------------|-----------------------|--------------------|--------|
| 普通科等 | 7,030  | 823          | 32            | 6,069                 | 118                | 6,187  |
| 農 業  | 1,040  | 96           |               | 826                   | 25                 | 851    |
| 水 産  | 120    | 21           |               | 109                   | 3                  | 112    |
| 工 業  | 1,840  | 259          | 2             | 1,552                 | 20                 | 1,572  |
| 商 業  | 1,360  | 353          |               | 1,173                 | 28                 | 1,201  |
| 家 庭  | 40     | 1            |               | 18                    | 2                  | 20     |
| 総 合  | 1,240  | 270          | 83            | 943                   | 22                 | 965    |
| 計    | 12,670 | 1,823        | 117           | 10,690                | 218                | 10,908 |

## 《定時制》

| 学科  | 入学定員 | 特色選抜<br>合格者数 | 連携型選抜<br>合格者数 | 前期選抜<br>合格者数 | 後 期 選 抜<br>合 格 者 数 | 合格者数 |
|-----|------|--------------|---------------|--------------|--------------------|------|
| 普 通 | 440  | 3            |               | 174          | 23                 | 197  |
| 工 業 | 40   | 0            |               | 8            | 0                  | 8    |
| 計   | 480  | 3            |               | 182          | 23                 | 205  |

## 2 現職教育

### (1) 各種研修並びに講習会

| 名 称                         | 期日                      | 期間    | 会 場                                                                                    | 参加者                       |
|-----------------------------|-------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 新任校長研修会                     | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止     |       |                                                                                        |                           |
| 新任教頭研修会                     | 新型コロナウイルス感染症対策のため中止     |       |                                                                                        |                           |
| 経験者研修Ⅲ（中堅教員研修）              | 10.28～10.29             | 2日    | 教育センター                                                                                 | 県立学校中堅教員 56名              |
| 初任者研修（基本研修）                 | 4.3                     | 1日    | 教育センター                                                                                 | 高等学校初任者研修<br>対象教員 47名     |
| 〃（一次研修）                     | 5.27、6.2、6.24           | 3日    | 教育センター                                                                                 |                           |
| 〃（二次研修）                     | 2.3、2.10、2.24           | 3日    | 教育センター                                                                                 |                           |
| 〃（教科別 研修）                   | 8.31～9.2                | 3日    | ・地歴公民（白河旭）<br>・理科（磐城）<br>・保健体育（新地）<br>・音楽（光南）<br>・家庭（いわき総合）<br>・農業水産（岩瀬農業）<br>・商業（平商業） |                           |
|                             | 9.14～9.16               | 3日    | ・国語（会津学鳳）<br>・数学（磐城桜が丘）<br>・英語（相馬東）<br>・工業（郡山北工）                                       |                           |
| 〃（地区別研修）                    | 4月～11月                  | 11日   | 各地区施設<br>学校等                                                                           |                           |
| 〃（所属における研修）                 | 4月～3月                   | 150時間 | 各所属校                                                                                   |                           |
| 2年次教員フォローアップ研修<br>（教科等指導研修） | 7.6                     | 1日    | 教育センター                                                                                 | 高等学校初任者研修<br>修了教員 35名     |
| 〃（企業体験研修）                   | 7.28～8.19               | 2日    | 各企業等                                                                                   |                           |
| 〃（所属校における研修）                | 4月～3月                   | 30時間  | 各所属校                                                                                   |                           |
| 経験者研修Ⅰ（校外研修）                | 1班 9.30<br>2班 10.7      | 1日    | 教育センター                                                                                 | 県立学校教職経験<br>5年を経過した者 54名  |
| 〃（所属校における研修）                | 5月～12月                  | 5日    | 各所属校                                                                                   |                           |
| 経験者研修Ⅱ（共通研修）                | 新型コロナウイルス感染症対策のため所属校で研修 |       |                                                                                        | 県立学校教職経験<br>10年を経過した者 87名 |
| 〃（生徒指導研修）                   | 7.1                     | 1日    | 教育センター                                                                                 |                           |
| 〃（教科指導研修Ⅰ）                  |                         |       |                                                                                        |                           |
| 〃（教科指導研修Ⅱ）                  | 2.2                     | 1日    | 教育センター                                                                                 |                           |
| 〃（社会体験研修Ⅰ）                  | 4月～1月                   | 2日    | 各所、施設等                                                                                 |                           |
| 〃（所属校における研修）                | 4月～1月                   | 15日以上 | 各所属校                                                                                   |                           |
| 〃（選択研修）                     | 4月～1月                   | 3日以上  | 各所、施設等                                                                                 |                           |
| 新任教務主任研修会                   | 8.3                     | 1日    | 勿来高校                                                                                   | 各県立高等学校<br>新任教務主任 23名     |
|                             | 8.5                     |       | あさか開成高校                                                                                |                           |
|                             | 8.11                    |       | 福島商業高校                                                                                 |                           |
|                             | 8.17                    |       | 葵高校                                                                                    |                           |

## (2) 教員体験研修（2か月）

実施せず

## (3) 教職員等中央研修

ア 趣旨

学校経営力向上のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核となる校長、教頭、中堅教員を育成する。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインによる研修に変更（NITS オンライン研修）

オ 期間及び参加者

◇校長研修（11月30日～12月4日）

県立須賀川高等学校長 森下 陽一郎

◇副校長・教頭等研修（9月7日～9月11日）

県立会津工業高等学校教頭 新方 浩二

◇中堅教員研修（9月28日～10月2日）

県立小高産業技術高等学校教諭 片山 龍

◇中堅教員研修（10月12日～10月16日）

県立只見高等学校教諭 阿部 智義

◇次世代リーダー育成研修（11月16日～11月20日）

県立塙工業高等学校教諭 渡邊 豊

◇次世代リーダー育成研修（12月14日～12月18日）

県立福島明成高等学校教諭 半沢 まどか

## (4) 学校組織マネジメント指導者養成研修

ア 趣旨

学校組織マネジメントの理論を身に付け、的確な校長のリーダーシップと経営理念のもとに戦略を構築し、学校内外の資源を活用することができるようにする。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインによる研修に変更（NITS オンライン研修）

オ 期間及び参加者（11月10日～11月12日）

県立会津学鳳高等学校教頭 柳橋 幸裕

## 3 教育課程

### (1) 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

### (2) 高等学校各教科等担当指導主事研究協議会

ア 目的

高等学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、新学習指導要領の趣旨の説明、教育課程の編成及び実施上の諸問題等に関する協議、情報交換等を行い、もって高等学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

イ 主催 文部科学省

ウ 共催 国立教育政策研究所

エ 期日

11月20日（金）、11月24日（火）、11月26日（木）、

11月30日（月）～12月3日（木）、

12月7日（月）～12月11日（金）

オ 開催地 新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインによる開催に変更

カ 参加者

| 部 会       | 氏 名   | 所 属     |
|-----------|-------|---------|
| 総 則       | 亀田 光弘 | 高校教育課   |
| 国 語       | 梅野 克也 | 高校教育課   |
| 地 理 歴 史   | 岩間真由美 | 高校教育課   |
| 公 民       | 緑川 祐  | 高校教育課   |
| 数 学       | 佐藤 章  | 高校教育課   |
| 理 科       | 高野 英樹 | 高校教育課   |
| 保 健 体 育   | 渡邊 亮  | 健康教育課   |
| 音 楽       | 鈴木 敦  | 高校教育課   |
| 美 術 ・ 工 芸 | 梅野 史代 | 教育センター  |
| 書 道       | 郡司 仁美 | 福島北高等学校 |
| 外 国 語     | 四家 真澄 | 高校教育課   |
| 家 庭（共 通）  | 鈴木砂代子 | 高校教育課   |
| 情 報（共 通）  | 滝沢日佐人 | 高校教育課   |
| 理 数       | 高野 英樹 | 高校教育課   |
| 農 業       | 志賀 勲  | 高校教育課   |
| 工 業       | 清水 隆司 | 高校教育課   |
| 商 業       | 五十嵐陽一 | 高校教育課   |
| 水 産       | 志賀 勲  | 高校教育課   |
| 家 庭（専 門）  | 鈴木砂代子 | 高校教育課   |
| 看 護       | 鈴木砂代子 | 高校教育課   |
| 情 報（専 門）  | 清水 隆司 | 高校教育課   |
| 福 祉       | 鈴木砂代子 | 高校教育課   |
| 総合的な探究の時間 | 高野 将徳 | 県北教育事務所 |
| 特 別 活 動   | 野中 齊  | 会津教育事務所 |

### (3) 福島県高等学校教育課程講習会

ア 目的

新高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議等を実施することにより、高等学校教育の改善及び充実を図る。

イ 主催

文部科学省及び福島県教育委員会

ウ 期日・会場・参加者数

新型コロナウイルス感染症対策のため、資料共有によるオンデマンド型講習を実施した。

| 期 日              | 参加者数 |
|------------------|------|
| 8月3日(月)～8月31日(月) | 782  |

エ 部会の参加者

設置部会及び参加者数は次の通りである。

| 部 会     | 参加者数 | 部 会     | 参加者数 |
|---------|------|---------|------|
| 総 則     | 25   | 書 道     | 開催せず |
| 国 語     | 95   | 外 国 語   | 105  |
| 地 理 歴 史 | 40   | 家 庭     | 10   |
| 公 民     | 13   | 情 報     | 開催せず |
| 数 学     | 95   | 農 業     | 56   |
| 理 科     | 61   | 工 業     | 102  |
| 保 健 体 育 | 104  | 商 業     | 66   |
| 音 楽     | 開催せず | 水 産     | 開催せず |
| 美 術・工 芸 | 10   | 看 護・福 祉 | 開催せず |
| 合 計     |      | 782     |      |

(4) 情報教育の充実

ア 情報教育研修

(ア) 専門研修 高等学校教育の産業教育及び教育センターの情報処理教育講座の欄参照

(イ) 一般研修 各種研修において情報処理に関する演習等を実施

イ 情報処理関係学科の設置状況

|    |        |                      |
|----|--------|----------------------|
| 農業 | 生産情報   | 福島明成                 |
| 工業 | 情報技術   | 郡山北工業、会津工業           |
|    | 情報電子   | 福島工業、清陵情報            |
|    | 情報システム | 二本松工業                |
|    | 情報工学   | 平工業                  |
| 商業 | 情報処理   | 郡山商業、清陵情報            |
|    | 情報会計   | 福島南、本宮、清陵情報          |
|    | 情報ビジネス | 福島商業、白河実業、修明<br>若松商業 |
|    | オフィス情報 | 須賀川                  |
|    | 情報システム | 喜多方桐桜、平商業            |
|    | 産業革新   | 小高産業技術               |
| 水産 | 情報通信   | いわき海星                |

ウ ICTを活用した新しい時代の教育研究開発事業に係る指導力向上開発校の指定

(ア) 目的

ICTを全ての教育活動で活用する新しい時代を迎えるにあたり、指導力向上開発校（モデル校）を指定し、優先的にICT機器を整備し、それらを活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ることにより、当該校の学習活動の一層の充実を図る。

また、指導事例の蓄積とそれを支える校内指導体制の充実について研究を進め、その研究成果を公開授業等の実施により県立高校全校に普及させるとともに、ICT環境整備と教員のICT活用指導力の向上を一体的に実現するモデルを構築する。

(イ) 指定校

福島高等学校、保原高等学校、安積高等学校  
光南高等学校、若松商業高等学校

(ウ) 指定期間

令和2年度から令和4年度までの3年間

(5) 国際理解教育の充実

語学指導等を行う外国青年招致事業

国際化に対応できる人材の育成及び外国語教育の充実

ア 招致人数 33名

イ 配 置 ○県内23の高校に各1名を配置、配置校における指導及び訪問指導

○県内8つの高校に各1名、県立中学校に各1名配置、専任教における指導

4 学力向上対策等

(1) 令和2年度文部科学省指定各種研究校

| 研究種別                 | 学校名  | 指定年度   | 研究主題                                                                                                                     |
|----------------------|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スーパーサイエンスハイスクール（SSH） | 会津学鳳 | H28～R2 | 大学、研究機関、地元企業の協力のもとに、高度なコンピュータリテラシーをそなえ、国際化、情報化社会で活躍できる科学技術系人材を、中学校・高等学校・大学の連携体制を通して育成するプログラムの研究開発。                       |
|                      |      | H29～R3 | 高い専門性と地域のリーダーとしての資質を併せ持つ世界で活躍する科学技術人材の育成を目的とし、この達成のために創造的思考力、表現力・発信力、国際力、専門力、物事を完遂する力といった5つの資質・能力の育成を目標とする。              |
|                      | 安積   | R1～R5  | 自ら進んで課題に向き合い、新しい社会を創出し、地域から世界を牽引できる科学技術系リーダーを育成するために、主体的・協働的な探究型学習を推進する教育プログラムを開発し、それを支え、発展させる新しい地域教育・共創モデルを確立するための研究開発。 |

## (2) ふくしま創生人財育成事業

### ア 特色ある郷土理解教育の支援

各学校の特色に応じて地域との連携を図り、郷土理解を促進しながら、新しい時代に求められる資質・能力の育成に努め、生徒一人一人の学力向上や進路実現に向けた取組を行う各学校を支援し、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

#### ○ 対象校：県立高等学校 22 校

福島商業、福島北、須賀川、清陵情報、光南、白河実業、塙工業、石川、田村、船引、小野、若松商業、猪苗代、大沼、南会津、いわき総合、湯本、小名浜、磐城農業、相馬農業、新地、いわき翠の杜

## (3) オールふくしま学力向上推進事業

### ア 大学進学のための学力向上推進事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の大学進学へ向けた早期の意識改革と学力向上を図った。さらには、教員の教科指導力や進学指導力の向上を図るとともに、各学校における指導内容や指導法等について情報共有や連携を進めて、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

#### ○ 対象校：県立高等学校 20 校

福島、橘、福島西、福島東、安積、安積黎明、郡山東、郡山、須賀川桐陽、白河、白河旭、会津、葵、会津学鳳、喜多方、磐城、磐城桜が丘、いわき光洋、相馬、原町

### イ ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト

教員や予備校講師によるレベルの高い授業を実施し学力の向上を図るとともに、大学の先輩との交流や参加者同士の協議等を通して進路意識の高揚を図り、将来リーダーシップを発揮し社会に貢献できる人材としての礎を築いた。

#### ○ 対象：難関大学進学への意識・意欲の高い県立高等学校 1 年生及び 2 年生。

#### ○ 日時：1 年生・・・参集及びオンデマンドにて開催

令和 3 年 3 月 2 4 日＋オンデマンド

2 年生・・・オンデマンドにて開催。

令和 2 年 7 月～令和 3 年 1 月に視聴

## 5 生徒指導・進路指導

### (1) 教育事務所指導主事の活動

県内 7 地区の教育事務所の指導主事の活動によって生徒指導の充実を図った。

主な活動は次のとおりである。

#### ア 地区内の高等学校の訪問指導(計画・随時)

#### イ 地区内の高等学校生活指導協議会の指導・援助

#### ウ 関係諸機関、諸団体との連携

#### エ 生徒指導関係の情報と資料の収集

#### オ 生徒指導関係の諸研修会における指導

### (2) スクールカウンセラーの配置

生徒の問題行動の多様化や深刻化、東日本大震災に伴う

心のケアに対応するため、全ての県立高等学校(86校)にスクールカウンセラーを配置した。

## 6 学校行事

### (1) 卒業式

#### ア 県立高等学校卒業生数

| 課程  | 性別    |       |        |
|-----|-------|-------|--------|
|     | 男     | 女     | 計      |
| 全日制 | 6,366 | 6,012 | 12,378 |
| 定時制 | 111   | 97    | 208    |
| 通信制 | 43    | 69    | 112    |
| 計   | 6,520 | 6,178 | 12,698 |

#### イ 卒業式実施期日

| 日付   | 種別  |     |     |    |
|------|-----|-----|-----|----|
|      | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 計  |
| 3月1日 | 80  | 7   | 0   | 87 |
| 3月2日 | 1   | 0   | 0   | 1  |
| 3月7日 | 0   | 0   | 1   | 1  |
| 計    | 81  | 7   | 1   | 89 |

#### ウ 県知事、県議会議長、県教育長臨席校

県知事臨席校 3月1日 白河高等学校  
光南高等学校

県議会議長臨席校 コロナ対策のため臨席せず  
県議会副議長臨席校 コロナ対策のため臨席せず  
県教育長臨席校 地震被害のため臨席せず

### (2) 修学旅行(県立高等学校) ( )は前年度

ア 参加生徒総数 4,260人(12,463人)

イ 参加率 94.1%(95.2%)

#### ウ 行先

| 行先       | 校数     |
|----------|--------|
| 県内       | 1 (0)  |
| 北海道      | 2 (1)  |
| 北海道・東北   | 5 (0)  |
| 東北       | 9 (0)  |
| 東北・関東    | 2 (0)  |
| 東北・北陸    | 1 (0)  |
| 北陸       | 1 (0)  |
| 関東       | 0 (1)  |
| 関東・中部    | 1 (0)  |
| 東海       | 1 (0)  |
| 奈良・京都    | 0 (49) |
| 中国・近畿    | 1 (14) |
| 九州       | 2 (2)  |
| 沖縄       | 0 (12) |
| 四国・中国・近畿 | 0 (3)  |
| 四国・近畿    | 1 (0)  |
| 海外       | 0 (4)  |

エ 航空機利用 37校(34校)

|       |         |
|-------|---------|
| 北海道方面 | 0校(1校)  |
| 大阪方面  | 1校(18校) |
| 九州方面  | 2校(2校)  |
| 沖縄方面  | 0校(12校) |
| 広島    | 0校(0校)  |
| 愛媛    | 0校(0校)  |
| 海外    | 0校(4校)  |

オ 泊日数

|      |         |
|------|---------|
| 1泊2日 | 5校(0校)  |
| 2泊3日 | 15校(5校) |
| 3泊4日 | 7校(70校) |
| 4泊5日 | 0校(11校) |

カ 必要経費

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 生徒一人当たりの最高額 | 132,084円(135,000円) |
| 最低額         | 29,721円(67,945円)   |
| 平均額         | 70,198円(103,474円)  |

キ 引率責任者

|     |          |
|-----|----------|
| 校長  | 15校(38校) |
| 副校長 | 0校(1校)   |
| 教頭  | 12校(47校) |

7 産業教育

(1) 県産業教育フェア

令和2年度は実施せず。

(2) 文部科学省主催の研修講座と内容

- ア 令和2年度産業・情報技術等指導者養成研修実施せず
- イ 令和2年度産業教育実習助手研修実施せず
- ウ 令和2年度学校農業・家庭クラブ連盟指導者養成講座実施せず

8 学校訪問

(1) 目的

指導主事等が県立学校を訪問し、関係者とともに授業研究や教科の指導に関する研究協議を行うことにより、学習指導等の充実を図る。

(2) 訪問校

経験者研修Ⅰ、又は経験者研修Ⅱの該当者の勤務する学校から数校を選定する。

(3) 訪問学校一覧

|             |       |
|-------------|-------|
| 橘高等学校       | 学校保健  |
| 保原高等学校(定時制) | 情報    |
| 安達東高等学校     | 外国語   |
| 本宮高等学校      | 商業    |
| 安積黎明高等学校    | 保健体育  |
| 郡山高等学校      | 国語、理科 |
| あさか開成高等学校   | 公民    |

|             |           |
|-------------|-----------|
| 長沼高等学校      | 数学        |
| 光南高等学校      | 芸術(美術)    |
| 小野高等学校      | 理科、農業     |
| 会津高等学校      | 地理歴史、保健体育 |
| 会津工業高等学校    | 工業        |
| 喜多方桐桜高等学校   | 国語        |
| 川口高等学校      | 数学        |
| 会津農林高等学校    | 農業        |
| 四倉高等学校      | 保健体育      |
| ふたば未来学園高等学校 | 家庭        |
| 相馬東高等学校     | 芸術(書道)    |
| 相馬農業高等学校    | 芸術(音楽)    |
| 小高産業技術高等学校  | 工業        |
| 郡山萌世高等学校    | 学校保健      |
| 白河第二高等学校    | 定通(生物)    |
| いわき翠の杜高等学校  | 外国語       |

9 県立学校学校教育指導委員

| 教科名    | 氏名     | 職名    | 学校名       |
|--------|--------|-------|-----------|
| 国語     | 中島 知子  | 教諭    | 清陵情報高等学校  |
|        | 長坂 哲志  | 教諭    | 川口高等学校    |
| 地理歴史   | 村岡 亮   | 教諭    | 耶麻農業高等学校  |
| 公民     | 野内 鑑   | 教諭    | 埴工業高等学校   |
| 数学     | 松倉 桂子  | 教諭    | 修明高等学校    |
|        | 長谷川 匠  | 教諭    | 猪苗代高等学校   |
| 理科     | 遠藤 喜光  | 教諭    | 安積黎明高等学校  |
|        | 熊田 宏毅  | 教諭    | 須賀川桐陽高等学校 |
| 保健体育   | 渡部 健次  | 教諭    | 小野高等学校    |
|        | 佐藤 喜平  | 教諭    | 会津学鳳高等学校  |
|        | 渡邊 亮   | 教諭    | 湯本高等学校    |
| 芸術(音楽) | 佐藤 優子  | 教諭    | 岩瀬農業高等学校  |
|        | (美術)   | 國島 敏  | 橘高等学校     |
|        | (書道)   | 郡司 仁美 | 福島北高等学校   |
| 外国語    | クームズ茂子 | 教諭    | 福島東高等学校   |
|        | 小松 睦   | 教諭    | 磐城桜が丘高等学校 |
| 家庭     | 遠藤 美英  | 教諭    | 安達高等学校    |
| 情報     | 橋本 英臣  | 教諭    | 安積高等学校    |
| 農業・水産  | 郷 貫    | 教諭    | 修明高等学校    |
|        | 沖沢 秀一  | 教諭    | 磐城農業高等学校  |
| 工業     | 馬場 正紀  | 教諭    | 郡山北工業高等学校 |
|        | 鈴木 康生  | 教諭    | 喜多方桐桜高等学校 |
| 商業     | 猪狩 晃一  | 教諭    | 福島商業高等学校  |
| 定通     | 大松 隆   | 教諭    | 郡山萌世高等学校  |

| 教科名  | 氏名    | 職名   | 学校名     |
|------|-------|------|---------|
| 学校保健 | 延々 聡美 | 養護教諭 | 平工業高等学校 |
|      | 後藤ひとみ | 養護教諭 | 本宮高等学校  |

(26名)

## 10 教科用図書

### (1) 教科書採択事務説明会

令和2年度は実施せず。

## 11 教育研究団体

### (1) 福島県高等学校長協会

組織

令和2年度福島県高等学校長協会役員名簿

| 役職名  | 氏名         |
|------|------------|
| 会長   | 加藤 知道 (橘)  |
| 副会長  | 竹田 真二 (福島) |
| 副会長  | 小島 稔 (安積)  |
| 副会長  | 廣瀬 敬彦 (会津) |
| 副会長  | 吉田 強栄 (磐城) |
| 副会長  | 山崎 雅弘 (原町) |
| 監査   | 瓜生 康弘 (福西) |
| 監査   | 高島 秀一 (福南) |
| 事務局長 | 二瓶 晃一 (福東) |

支部

| 支部  | 支部長        | 副支部長                     |
|-----|------------|--------------------------|
| 県北  | 竹田 真二 (福島) | 大和田範雄 (明成)<br>鈴木 康隆 (福工) |
| 県南  | 小島 稔 (安積)  | 湯田 重哉 (黎明)<br>白石 文夫 (白河) |
| 会津  | 廣瀬 敬彦 (会津) | 鈴木 睦治 (葵)<br>遠藤 利晴 (喜方)  |
| いわき | 吉田 強栄 (磐城) | 佐竹 正徳 (桜丘)<br>曾川 孝規 (い支) |
| 相双  | 山崎 雅弘 (原町) | 菊田 勇雄 (相馬)<br>柳沼 英樹 (ふ未) |

理事会

|     | 氏名                    |
|-----|-----------------------|
| 理事会 | 加藤 知道 (橘) 鈴木 睦治 (葵)   |
|     | 竹田 真二 (福島) 松浦 冬樹 (福商) |
|     | 小島 稔 (安積) 大和田範雄 (明成)  |
|     | 廣瀬 敬彦 (会津) 鈴木 康隆 (福工) |
|     | 吉田 強栄 (磐城) 矢森 健一 (萌世) |
|     | 山崎 雅弘 (原町) 小檜山宗浩 (聴支) |
|     | 二瓶 晃一 (福東) 遠藤 均 (田村)  |

専門委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)

| 専門委員会                 | 氏名                      |
|-----------------------|-------------------------|
| 管理運営委員会               | ◎森下陽一郎 (須川) ○菊池 直之 (白旭) |
|                       | 高島 秀一 (福南) 阿部 学 (遠野)    |
|                       | 佐々木理夫 (猪代) 高野 敦史 (新地)   |
|                       | 齋藤 靖 (大沼) 橋本 淳一 (視支)    |
|                       | 吉田 強栄 (磐城) 菅野美恵子 (た支)   |
|                       | 平澤 洋介 (小浜) 根本 健一 (平支)   |
| 教育課題委員会               | ◎齋藤 文子 (い光) ○伊藤 勝宏 (只見) |
|                       | 安田 修久 (明成) 高橋 幸市 (福北)   |
|                       | 櫻井 克彦 (石川) 佐々木理夫 (小野)   |
|                       | 軽部 英敏 (川口) 杉山 裕恵 (聴支)   |
|                       | 柳沼 哲 (平支) 赤坂 剛 (富支)     |
|                       | 鈴木 義人 (安積)              |
| 生徒指導委員会               | ◎芳賀 菊博 (勿工) ○金田洋一郎 (松工) |
|                       | 鈴木 義祐 (福北) 松本 善法 (い海)   |
|                       | 酒井 祐治 (湖南) 山崎 雅弘 (原町)   |
|                       | 夏目利江子 (長沼) 伊東 光司 (相農)   |
|                       | 高橋 文彦 (塙工) 西村 則昌 (あ支)   |
|                       | 小針 幸雄 (小野) 伊藤 俊幸 (会支)   |
| 教育課程委員会               | ◎郡司 完 (光南) ○渡邊 学 (い総)   |
|                       | 竹田 真二 (福島) 橋本 忠広 (南会)   |
|                       | 大和田範雄 (明成) 金成 智子 (四倉)   |
|                       | 鈴木 康隆 (福工) 柳沼 英樹 (ふ未)   |
|                       | 佐藤 秀雄 (西会) 阿部 和行 (西支)   |
|                       | 渡邊 武彦 (田島)              |
| 高校入試検討委員会             | ◎黒川 佳子 (あ開) ○中野 茂 (勿来)  |
|                       | 高澤 正男 (梁川) 佐藤 浩正 (喜桐)   |
|                       | 佐藤 弘樹 (保原) 松尾 幸生 (坂下)   |
|                       | 遠藤 均 (田村) 佐藤 秀美 (い光)    |
|                       | 吉井 秀樹 (船引) 渡邊 正仁 (相東)   |
|                       | 廣瀬 敬彦 (会津) 矢森 健一 (萌世)   |
| 大学入試対策委員会             | ◎瓜生 康弘 (福西) ○中野 隆幸 (郡東) |
|                       | 加藤 知道 (橘) 鈴木 睦治 (葵)     |
|                       | 小島 稔 (安積) 味原 正美 (学鳳)    |
|                       | 湯田 重哉 (黎明) 遠藤 利晴 (喜方)   |
|                       | 阿部 秀樹 (郡山) 佐竹 正徳 (桜丘)   |
|                       | 井関 和明 (桐陽) 吉田 浩美 (湯本)   |
| 白石 文夫 (白河) 菊田 勇雄 (相馬) |                         |
| 就職指導対策委員会             | ◎澁谷 栄一 (郡北) ○馬場 裕史 (郡商) |
|                       | 松浦 冬樹 (福商) 遠藤 敦也 (平工)   |
|                       | 山内 義美 (川俣) 吉成 広昭 (平商)   |
|                       | 阿部 洋己 (本宮) 鈴木 稔 (小産)    |
|                       | 二瓶 賢一 (清陵) 齋藤 裕昭 (い翠)   |



| 専門委員会     | 氏名          |             |
|-----------|-------------|-------------|
| 就職指導対策委員会 | 佐藤 京治 (若商)  | 小檜山宗浩 (聴支)  |
|           | 高梨 哲夫 (会工)  | 佐藤 清悦 (い支)  |
|           | 渋川 卓也 (喜東)  |             |
| 人権教育委員会   | ◎伊藤 重幸 (安東) | ○齊藤 恵子 (郡支) |
|           | 猪俣 豊 (安達)   | 菅野美恵子 (猪支)  |
|           | 富樫 実 (白実)   | 本田 知史 (猪支)  |
|           | 郷 清隆 (修明)   | 西牧 辰典 (富支)  |
|           | 橋本 淳一 (須支)  |             |

| 部会長    |               |
|--------|---------------|
| 部会     | 氏名            |
| 普通部会   | 鈴木 睦治 (葵)     |
| 商業部会   | 松浦 冬樹 (福島商業)  |
| 農業部会   | 大和田範雄 (福島明成)  |
| 工業部会   | 鈴木 康隆 (福島工業)  |
| 水産部会   | 松本 善法 (いわき海星) |
| 家庭部会   | 黒川 佳子 (あさか開成) |
| 定通部会   | 矢森 健一 (郡山萌世)  |
| 特別支援部会 | 小檜山宗浩 (聴覚支援)  |
| 理数部会   | 菊田 勇雄 (相馬)    |
| 英語国際部会 | 高島 秀一 (福島南)   |
| 体育部会   | 遠藤 均 (田村)     |
| 総合学科部会 | 郡司 完 (光南)     |

| 全国校長会 |               |
|-------|---------------|
| 部会    | 氏名            |
| 理事    | 加藤 知道 (橘)     |
| 理事    | 竹田 真二 (福島)    |
| 理事    | 小島 稔 (安積)     |
| 管理運営  | 森下陽一郎 (須賀川)   |
| 教育課題  | 齋藤 文子 (石川)    |
| 生徒指導  | 芳賀 菊博 (勿来工業)  |
| 教育課程  | 郡司 完 (光南)     |
| 大学入試  | 瓜生 康弘 (福島西)   |
| 就職対策  | 澁谷 栄一 (郡山北工業) |
| 人権教育  | 伊藤 重幸 (安達東)   |

## (2) 福島県高等学校教育研究会

ア 財政及び組織の状況

(7) 本部

令和2年度福島県高等学校教育研究会

| 役職名 | 氏名    | 所属校・職名       |
|-----|-------|--------------|
| 会長  | 二瓶 晃一 | 福島県立福島東高等学校長 |
| 副会長 | 小島 稔  | 〃 安積高等学校長    |
| 副会長 | 井関 和明 | 〃 須賀川桐陽高等学校長 |
| 監査  | 竹田 真二 | 〃 福島高等学校長    |
| 監査  | 高島 秀一 | 〃 福島南高等学校    |
| 委員  | 鈴木 義祐 | 〃 福島北高等学校長   |
| 委員  | 大和田範雄 | 〃 福島明成高等学校長  |
| 委員  | 鈴木 康隆 | 〃 福島工業高等学校長  |
| 委員  | 松浦 冬樹 | 〃 福島商業高等学校長  |
| 委員  | 白石 文夫 | 〃 白河第二高等学校長  |
| 委員  | 中野 隆幸 | 〃 郡山東高等学校長   |
| 委員  | 伊藤 重幸 | 〃 安達東高等学校長   |
| 委員  | 和田 直也 | 〃 好間高等学校長    |
| 幹事  | 名嶋 明宏 | 〃 福島東高等学校教頭  |
| 幹事  | 國分 茂男 | 〃 福島東高等学校教頭  |

(4) 部会

| 部会名  | 部会長氏名  | 所属校・職名     | 会員数 |
|------|--------|------------|-----|
| 養護教諭 | 小島 稔   | 安積高等学校長    | 148 |
| 保健体育 | 鈴木 義祐  | 福島北高等学校長   | 450 |
| 理科   | 井関 和明  | 須賀川桐陽高等学校長 | 411 |
| 音楽   | 小島 稔   | 安積高等学校長    | 89  |
| 農業   | 大和田 範雄 | 福島明成高等学校長  | 222 |
| 工業   | 鈴木 康隆  | 福島工業高等学校長  | 403 |
| 商業   | 松浦 冬樹  | 福島商業高等学校長  | 311 |
| 定通   | 白石 文夫  | 白河第二高等学校長  | 152 |
| 英語   | 中野 隆幸  | 郡山東高等学校長   | 450 |
| 数学   | 竹田 真二  | 福島高等学校長    | 467 |
| 家庭   | 伊藤 重幸  | 安達東高等学校長   | 130 |
| 美術工芸 | 和田 直也  | 好間高等学校長    | 62  |

○令和2年度予算 129,570円

## 第4節 文化活動の振興

### 1 文化活動の振興

高校生の芸術文化活動の充実向上を図るため、福島県高等学校文化連盟に対する助成を行った。

例年行われていた福島県高等学校総合文化祭活動優秀校公演については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見送ることとなった。

#### (1) 芸術文化活動発表機会の充実

ア 福島県高等学校文化連盟への助成

福島県高等学校総合文化祭の開催に対する補助を行った。（補助対象事業費計：7,391千円、補助金額計：1,000千円）

(ア) 令和2年度福島県高等学校文化連盟

役員

| 役職名      | 氏名    | 職  | 所属校      |
|----------|-------|----|----------|
| 会長       | 湯田 重哉 | 校長 | 安積黎明高等学校 |
| 副会長(私立)  | 森 涼   | 校長 | 学法石川高等学校 |
| 副会長(県北)  | 二瓶 晃一 | 校長 | 福島東高等学校  |
| 副会長(県南)  | 郡司 完  | 校長 | 光南高等学校   |
| 副会長(会津)  | 遠藤 利晴 | 校長 | 喜多方高等学校  |
| 副会長(いわき) | 阿部 学  | 校長 | 遠野高等学校   |
| 副会長(相双)  | 山崎 雅弘 | 校長 | 原町高等学校   |
| 理事長      | 三條 敦  | 教諭 | 安積黎明高等学校 |
| 事務局長     | 難波 幸生 | 教諭 | 安積黎明高等学校 |

| 役職名 | 氏名    | 職    | 所属校      |
|-----|-------|------|----------|
| 監事  | 馬場 裕史 | 校長   | 郡山商業高等学校 |
| 監事  | 飯豊 利子 | 教諭   | 郡山高等学校   |
| 幹事  | 高橋 温仁 | 教諭   | 喜多方高等学校  |
| 幹事  | 岩田 隼  | 教諭   | 小野高等学校   |
| 幹事  | 藤川 潤子 | 教諭   | 安積黎明高等学校 |
| 幹事  | 渡邊 尚子 | 教諭   | 安積黎明高等学校 |
| 幹事  | 篠原まなみ | 常勤講師 | 遠野高等学校   |
| 顧問  | 丹野 純一 | 課長   | 高校教育課    |

専門部会長・専門部委員長

| 専門部         | 部会長   | 職  | 所属校   | 部委員長  | 職  | 所属校   |
|-------------|-------|----|-------|-------|----|-------|
| 演劇          | 高島 秀一 | 校長 | 福島南   | 岡田 篤  | 教諭 | 福島東稜  |
| 高音連         | 鈴木 和明 | 教頭 | 安積御館  | 大竹 隆  | 教諭 | 会津    |
| 合唱          | 湯田 重哉 | 校長 | 安積黎明  | 星 英一  | 教諭 | 安積黎明  |
| 吹奏楽         | 渡邊 正仁 | 校長 | 相馬東   | 今野 貴文 | 教諭 | 相馬東   |
| 器楽管弦楽       | 馬場 裕史 | 校長 | 郡山商業  | 瓶子美穂子 | 教諭 | 郡山商業  |
| 日本音楽        | 渡邊 学  | 校長 | いわき総合 | 梅津智香子 | 教諭 | いわき総合 |
| 吟詠剣詩舞       | 唐木 義則 | 校長 | 昌平    | 大橋 未緒 | 教頭 | 昌平    |
| 郷土芸能        | 伊東 光司 | 校長 | 相馬農業  | 村田 和丈 | 教諭 | 磐城農業  |
| マーチングB・バトンT | 阿部 秀樹 | 校長 | 郡山    | 工藤 幸恵 | 教諭 | 郡山    |
| 美術・工芸       | 和田 直也 | 校長 | 好間    | 眞柴 毅  | 教諭 | 福島東   |
| 書道          | 矢森 健一 | 校長 | 郡山萌世  | 小野 俊彦 | 教諭 | 郡山萌世  |
| 写真          | 瓜生 康弘 | 校長 | 福島西   | 伊藤 規生 | 教諭 | 保原    |
| 放送          | 阿部 秀樹 | 校長 | 郡山    | 中野 淳之 | 教諭 | 郡山    |
| 囲碁          | 小島 稔  | 校長 | 安積    | 佐原 輝明 | 教諭 | 保原(定) |
| 将棋          | 竹田 真二 | 校長 | 福島    | 松村 茂郎 | 教諭 | 福島    |
| 弁論          | 廣瀬 敬彦 | 校長 | 会津    | 猪俣小百合 | 教諭 | 会津    |
| 小倉百人一首かるた   | 湯田 重哉 | 校長 | 安積黎明  | 益永 涼子 | 教諭 | 安積黎明  |
| 新聞          | 澁谷 栄一 | 校長 | 郡山北工業 | 吉田 義仁 | 教諭 | 郡山北工業 |

| 専 門 部  | 部会長   | 職   | 所属校    | 部委員長  | 職   | 所属校    |
|--------|-------|-----|--------|-------|-----|--------|
| 文 芸    | 橋本 忠広 | 校 長 | 南会津    | 堀江 勇一 | 教 諭 | 橋      |
| 自然科学   | 井関 和明 | 校 長 | 須賀川桐陽  | 西塔 佳正 | 教 諭 | 湯 本    |
| 農 業    | 五ノ井平吉 | 校 長 | 磐城農業   | 穂積慎一郎 | 教 諭 | 磐城農業   |
| 工 業    | 澁谷 栄一 | 校 長 | 郡山北工業  | 高橋 健也 | 教 諭 | 郡山北工業  |
| 商 業    | 松浦 冬樹 | 校 長 | 福島商業   | 石川 智裕 | 教 諭 | 福島商業   |
| 家 庭    | 五ノ井平吉 | 校 長 | 磐城農業   | 折笠 浩美 | 教 諭 | 磐城農業   |
| 定 通    | 齋藤 裕昭 | 校 長 | いわき翠の杜 | 高木 光子 | 教 諭 | いわき翠の杜 |
| 特別支援学校 | 本田 知史 | 校 長 | 猪苗代支援  | 鈴木 健治 | 教 諭 | 猪苗代支援  |
| J R C  | 湯田 重哉 | 校 長 | 安積黎明   | 池田 知美 | 教 諭 | 安積黎明   |

イ 第39回福島県高等学校総合文化祭

県内高校生の文化活動の成果発表と相互の交流を目的として、全県内において、令和2年9月から令和3年2月まで、専門部の行事を開催した。

ウ 第44回全国高等学校総合文化祭への参加

高知県で開催される予定であった同文化祭だが、新型コロナウイルスの影響により、通常開催が見送られ、WEB上での開催となった。本県からは、約110名の生徒が参加した。

〔参加部門〕

日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、美術・工芸、書道、写真、放送、弁論、小倉百人一首、文芸、自然科学、ボランティア

エ 令和2年度福島県高文連専門部全国大会入賞状況

(ア) 団体

| 専 門 部  | 大 会 名                         | 成 績         | 学 校 名   |
|--------|-------------------------------|-------------|---------|
| 文 芸    | 第35回全国高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門      | 優秀賞（全国3位相当） | 磐 城     |
| 美術・工芸  | 日学・黒板アート甲子園®2020              | 優秀賞（全国2位相当） | 会 津 学 鳳 |
| 商 業    | 地方創生 政策アイデアコンテスト2020          | 優秀賞（全国2位相当） | 保 原     |
| 器楽・管弦楽 | 第9回日本学校合奏コンクール全国グランドコンテスト2021 | 金賞          | 郡 山 商 業 |
| 吹奏楽    | 第44回全日本アンサンブルコンテスト            | 金賞          | 磐 城     |

(イ) 個人

| 専 門 部         | 大 会 名                          | 成 績                           | 学 校 名     | 氏 名   |
|---------------|--------------------------------|-------------------------------|-----------|-------|
| 家 庭           | 第68回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会          | 文部科学大臣賞<br>（全国1位相当）           | 耶 麻 農 業   | 鶴川 美涼 |
| 書 道           | 第44回全国高等学校総合文化祭書道部門            | 読売新聞社賞・<br>奨励賞                | 会 津 学 鳳   | 湯田 真生 |
| 小倉百人一首<br>かるた | 第44回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首<br>かるた部門 | 優秀読手賞                         | 安 積 黎 明   | 野村 紗都 |
| 写 真           | 第44回全国高等学校総合文化祭 写真部門           | 優秀賞                           | 安 積       | 古川 円香 |
| 特別支援学校        | 第27回全国特別支援学校文化祭                | 全国特別支援学校文化連盟<br>会長賞（造形・美術部門）  | 大 笹 生 支 援 | 新田 愁夜 |
|               | 第27回全国特別支援学校文化祭                | 全国特別支援学校肢体不自由<br>教育校長会賞（写真部門） | 平 支 援     | 庄子 陽士 |

| 専 門 部  | 大 会 名                    | 成 績                       | 学 校 名   | 氏 名   |
|--------|--------------------------|---------------------------|---------|-------|
| 特別支援学校 | 第 27 回全国特別支援学校文化祭        | 全国特別支援学校文化連盟<br>会長賞（書道部門） | 郡 山 支 援 | 佐藤 和音 |
| 文 芸    | 第 35 回全国高等学校文芸コンクール 俳句部門 | 優秀賞                       | 須賀川桐陽   | 滝田 翼  |
|        | 第 35 回全国高等学校文芸コンクール 俳句部門 | 優良賞                       | 磐 城     | 空岡 夢  |
|        | 第 35 回全国高等学校文芸コンクール 詩部門  | 優良賞                       | 磐 城     | 松野 未悠 |

オ 令和 2 年度福島県高等学校文化連盟表彰

(ア) 優秀団体

| No. | 団 体 名                                      | 所属校名    | 専 門 部  | 全国大会での成績                                    |
|-----|--------------------------------------------|---------|--------|---------------------------------------------|
| 1   | 文学部                                        | 磐 城     | 文 芸    | 第 35 回全国高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門<br>優秀賞（全国 3 位相当） |
| 2   | 美術部                                        | 会 津 学 鳳 | 美術・工芸  | 日学・黒板アート甲子園*2020<br>優秀賞（全国 2 位相当）           |
| 3   | 課題研究<br>調査研究チーム<br>(藤原修太郎<br>舟山芽生<br>松尾心音) | 保 原     | 商 業    | 地方創生 政策アイデアコンテスト 2020<br>優秀賞（全国 2 位相当）      |
| 4   | 管弦楽部                                       | 郡 山 商 業 | 器楽・管弦楽 | 第 9 回日本学校合奏コンクール全国グランドコンテスト 2021<br>金賞      |
| 5   | 吹奏楽部                                       | 磐 城     | 吹奏楽    | 第 44 回全日本アンサンブルコンテスト<br>(フルート七重奏) 金賞        |

(イ) 優秀個人

| No. | 氏 名   | 所属校名      | 専 門 部         | 全国大会での成績                                       |
|-----|-------|-----------|---------------|------------------------------------------------|
| 1   | 鶴川 美涼 | 耶 麻 農 業   | 家 庭           | 第 68 回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会<br>文部科学大臣賞（全国 1 位相当）   |
| 2   | 湯田 真生 | 会 津 学 鳳   | 書 道           | 第 44 回全国高等学校総合文化祭書道部門<br>読売新聞社賞・奨励賞            |
| 3   | 野村 紗都 | 安 積 黎 明   | 小倉百人一首<br>かるた | 第 44 回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門<br>優秀読手賞          |
| 4   | 新田 愁夜 | 大 笹 生 支 援 | 特別支援学校        | 第 27 回全国特別支援学校文化祭<br>全国特別支援学校文化連盟会長賞（造形・美術部門）  |
| 5   | 庄子 陽士 | 平 支 援     | 特別支援学校        | 第 27 回全国特別支援学校文化祭<br>全国特別支援学校肢体不自由教育校長会賞（写真部門） |
| 6   | 佐藤 和音 | 郡 山 支 援   | 特別支援学校        | 第 27 回全国特別支援学校文化祭<br>全国特別支援学校文化連盟会長賞（書道部門）     |

(ウ) 優秀指導者

| No. | 氏 名    | 所属校名         | 専 門 部 | 全国大会での成績                                                                                                                       |
|-----|--------|--------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 齋藤 夏菜子 | ふたば未来<br>学 園 | 演 劇   | 第 43 回全国高等学校総合文化祭佐賀大会演劇部門<br>優秀賞（全国 2 位相当）受賞、全国高等学校総合文化祭優秀校東京<br>公演出場（本県 17 年ぶり出演）／第 38 回全国高等学校総合文化祭<br>茨城大会演劇部門出場（いわき総合高校演劇部） |